

目 次

あいさつ	1
沿革	2
平成18年度主要記事	4
展示事業	
アート・コレクション展	6
県立美術館・博物館合同企画事業「あめを渡り」	12
企画展「日本のわざと美」展—重要無形文化財とそれを支える人々—	13
企画展「—悠久のロマンを現代に—龍崎輝夫」	17
第30回千葉県移動美術館	20
普及事業	
県立美術館・博物館合同企画事業	
企画展「日本のわざと美」展関連事業	
企画展「—悠久のロマンを現代に—龍崎輝夫」	
アート・コレクション展関連事業	
その他の事業	
演技講座・美術館体験学習・教師のためのアートガイド講座	
美術巡りの旅	
情報資料室	26
活動協力	26
博物館実習・美術師友の会・ボランティア・美術館講座	
調査・収集活動	
貸出資料一覧	31
収蔵資料数一覧	33
18年度収蔵資料一覧	34
管理運営・運営方針	
組織	35
平成18年度職員	37
利用状況	38
展示室利用団体	39
施設	41
利用案内	46

平成
18

CHIBA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

千葉県立美術館 年報 No. 33

April 2006 — March 2007

ANNUAL BULLETIN OF
CHIBA PREFECTURAL
MUSEUM OF ART

目 次

あいさつ	1
沿革	2
平成18年度主要記事	4
展示事業	
アート・コレクション展	6
県立美術館・博物館合同企画事業「染めと織り」	12
企画展「日本のわざと美」展－重要無形文化財とそれを支える人々－	13
企画展「－悠久のロマンを現代に－篠崎輝夫」	17
第30回千葉県移動美術館	20
普及事業	
県立美術館・博物館合同企画事業「染めと織り」関連事業	22
企画展「日本のわざと美」展関連事業	22
企画展「－悠久のロマンを現代に－篠崎輝夫」関連事業	23
アート・コレクション展関連事業	24
その他の事業	25
実技講座・美術館体験学習・教師のためのアートガイダンス	
美術巡りの旅	
情報資料室	26
活動協力	26
博物館実習・美術館友の会・ボランティア・美術館講座	
調査・収集活動	
貸出資料一覧	31
収蔵資料数一覧	33
18年度収蔵資料一覧	34
管理運営・運営方針	
組織	36
平成18年度職員	37
利用状況	38
展示室利用団体	39
施設	41
利用案内	46

あいさつ

平成18年度の千葉県立美術館における活動の実績を年報としてまとめました。

本館は昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、県民の皆様のさまざまな美術に対する要望におこたえできるよう努めてまいりました。

平成18年度は企画展として、「一悠久のロマンを現代に―篠崎輝夫」と文化庁が全国の都道府県を会場に実施している「日本のわざと美」展を中央博物館と2館で実施しました。また、県立美術館・博物館合同企画事業「染めと織り」展の幹事館として企画し、安房博物館及び房総のむらの2館と開催しました。さらに、第30回目となる移動美術館については、銚子市市民センターを会場に実施しました。

本館が収蔵する作品の展示については、種々のテーマに基づいた収蔵作品による「アートコレクション展」を年間を通して10回開催し、新たに小テーマ展示を13回行いました。

このほか、美術についての理解を深め、作品鑑賞の一助とするため、展覧会に関連した美術講演会を開催し、さらに、子どもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうため「ワークショップ」、「美術館体験学習」、「おもしろ鑑賞教室」などを開催しました。また、ますます高まっている県民の皆様の美術創作への意欲におこたえできるよう美術の各分野にわたる実技講座も実施しました。

作品収集にあたりましては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の方々の協力を得ながら、コレクションの体系化とその充実を図りました。

今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方の指導と支援をいただきますようお願いいたします。

平成19年 8 月

千葉県立美術館長

眞 田 孝 則

■ 沿 革

1969年12月9日	第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催（委員15名）		その師弟展」を開催
1970年1月19日	県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決	1976年6月7日	寄付によって、正面玄関植栽
1970年7月24日	建設地として千葉公園に内定	1977年3月12日	彫刻の野外展示開始
1970年11月12日	第1回美術館設置準備専門委員会を開催（委員10名）	1977年4月10日	展示棟の一室に美術普及室を開設
1971年3月31日	千葉公園内の美術館基本構想成立	1978年1月18日	外構工事として、駐車場拡張（97台）
1971年6月24日	体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示	1978年2月21日	美術普及棟の準備会発足
1972年1月5日	建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換	1978年10月17日	美術普及棟建築予算を計上
1972年3月31日	基本設計完了（株式会社大高建築設計事務所）	1978年11月18日	浅井忠像完成除幕式
1972年7月31日	展示棟第1期工事の実施設計完了	1978年11月30日	美術普及棟実施設計完了
1972年9月21日	展示棟杭打工事着工	1979年1月8日	美術普及棟を県民アトリエ棟と改称
1972年10月13日	展示棟建築工事請負契約議案可決	1979年3月5日	県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決
1972年12月10日	展示棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	1979年3月22日	県民アトリエ棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
1973年4月1日	文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始	1980年2月29日	県民アトリエ棟竣工
1973年11月30日	管理棟（第2期工事）の実施設計完了	1980年3月16日	県民アトリエ棟完成記念講演会
1974年3月31日	展示棟竣工	1980年4月1日	千葉県美術品取得基金条例施行
1974年4月1日	千葉県立美術館発足（職員14名）	1980年9月9日	県民アトリエ棟情報資料室開設
1974年10月23日	開館記念式典開催	1983年7月29日	美術普及コーナー開設
1974年10月24日	開館記念展「千葉県美術展覧会」開催一般公開開始	1983年11月12日	開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立
1975年2月21日	管理棟杭打工事着工	1986年3月25日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化
1975年3月13日	管理棟建築工事請負契約議案可決	1986年4月10日	入口門扉4ヶ所設置
1975年3月16日	管理棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	1986年4月23日	美術館西側沿道寄り生垣植栽
1976年2月20日	管理棟竣工	1986年8月12日	講堂浸水防止工事完了
1976年3月2日	管理棟完成記念特別展「浅井忠と	1987年3月25日	機械室増築基本設計及び展示棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了
		1987年10月15日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
		1988年5月20日	受水槽設備改修工事（地上式）着工
		1988年8月31日	受水槽設備改修工事（地上式）完了
		1988年8月31日	展示棟（第8展示室）、収蔵庫（第3、4室）、機械室増築工事完了
		1989年2月28日	増築展示棟周辺芝張り工事完了

- | | | | |
|-------------|-------------------------------|------------|------------------|
| 1989年4月1日 | 普及課が新設され、3課で業務実施 | 2005年8月20日 | 空調用インバータ装置改修工事完了 |
| 1989年4月20日 | 開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催 | 2006年3月21日 | 電話装置改修工事完了 |
| 1989年9月11日 | 空調機改修工事実施設計完了 | 2006年3月31日 | アトリエ棟空調機修繕工事完了 |
| 1990年6月8日 | 空調機改修工事完了 | | |
| 1990年9月29日 | 収蔵庫（第1、2室）冷凍機改修工事着工 | | |
| 1990年11月7日 | 室内標識改修工事着工 | | |
| 1991年1月31日 | 収蔵庫（第1、2室）冷凍機改修工事完了 | | |
| 1991年2月20日 | 室内標識改修工事完了 | | |
| 1991年12月6日 | 空調用ポンプ改修工事完了 | | |
| 1992年4月1日 | 運営の一部が（財）千葉県社会教育施設管理財団へ委託 | | |
| 1992年10月20日 | 温湿度記録装置改修工事完了 | | |
| 1992年12月18日 | 食堂改修工事完了 | | |
| 1994年7月23日 | 開館20周年記念特別展「房総の美術」を開催 | | |
| 1998年2月23日 | ガス設備改修工事完了 | | |
| 1998年12月24日 | 空調設備改修工事完了 | | |
| 1999年6月5日 | 開館25周年記念特別展「ヒューストン美術館展」を開催 | | |
| 2000年3月30日 | 屋根材剥落補修工事完了
点字ブロック設置工事完了 | | |
| 2000年7月31日 | 文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり事業」受託 | | |
| 2001年3月29日 | 屋根材剥落補修工事（第7展示室）完了 | | |
| 2002年3月25日 | 屋根材剥落補修工事（第6展示室）完了 | | |
| 2002年3月25日 | 非常灯用直流電源装置改修工事完了 | | |
| 2002年3月25日 | 防犯カメラ改修工事完了 | | |
| 2002年12月20日 | 直流電源装置蓄電池改修工事完了 | | |
| 2003年3月25日 | 空調設備改修工事実施設計完了 | | |
| 2003年7月10日 | 空調設備改修工事完了 | | |
| 2004年4月18日 | 来館者500万人達成 | | |
| 2004年11月27日 | 開館30周年記念企画展「漁民を描く - 渡辺學の世界」開催 | | |

■平成18年度主要記事

- | | | | |
|--------|--|--------|--|
| 4月1日 | アート・コレクション「浅井忠・フォンタネー
ジとバルビゾン派」(～10月9日) | 11月25日 | アート・コレクション「浅井忠Ⅰ」
(～1月21日) |
| 4月11日 | アート・コレクション「星裏一」(～5月14日) | | アート・コレクション「浅井忠Ⅱ」
(～1月21日) |
| 4月15日 | アート・コレクション「抽象の絵画」
(～6月18日) | | アート・セレクション「コレクション50」より
(～1月21日) |
| 4月25日 | アート・コレクション「西村昭二郎」
(～5月28日) | | 県立美術館・博物館合同企画事業「染めと織り」
(～1月14日) |
| 5月11日 | 実技講座「陶芸講座(応用)」(6月8日まで
日数6日間) | | 企画展「日本のわざと美」展—重要無形文化財
とそれを支える人々—(～12月24日) |
| 5月13日 | アート・コレクション「新収蔵作品展」
(～7月17日) | | 企画展開連事業「伊勢型紙彫り」(～26日) |
| 5月14日 | 第1回ワークショップ「ウォールペイントあ
ーと」 | | 実技講座「ホリデーアート木版画講座」
(～11月26日) |
| 5月16日 | アート・コレクション「浜口陽三」
(～6月18日) | 11月26日 | 企画展開連事業「はがきを染めよう」 |
| 5月30日 | アート・コレクション「横尾芳月」
(～7月2日) | 12月2日 | 合同企画事業関連事業「コースターを染めよ
う」 |
| 6月3日 | 「エルシエナ・マンドリンアンサンブルによる
マンドリンコンサート」 | 12月3日 | 企画展開連事業「美術講演会 色鍋島のこ
ころ」 |
| 6月15日 | 実技講座「陶芸講座(基礎)」(7月13日まで
日数6日間) | 12月9日 | 合同企画事業関連事業「コースターを染めよ
う」 |
| 6月17日 | 第2回ワークショップ「県民の日・エンジ
ョーあーと」 | 12月10日 | 企画展開連事業「浅間神社神楽上演会」 |
| 6月20日 | アート・コレクション「安藤信哉」
(～7月23日) | 1月7日 | 合同企画事業関連事業「テーブルセンターを染
めよう」 |
| 6月24日 | アート・コレクション「ガラスの彩り」
(～8月13日) | 1月16日 | 実技講座「金工講座」(1月31日まで 日数10日
間) |
| 7月4日 | アート・コレクション「酒井亜人」
(～8月6日) | 1月27日 | 企画展「一悠久のロマンを現代に—篠崎輝夫」
(～3月4日) |
| 7月19日 | 実技講座「銅版画講座」(7月28日まで 日数
6日間) | | 企画展開連事業「美術講演会 篠崎輝夫を語
る」 |
| 7月22日 | アート・コレクション「こどものための展覧
会」(～8月27日) | | 企画展開連事業「成田楽笑会による獅子舞」 |
| 7月25日 | アート・コレクション「大野隆徳・石井光楓」
(～8月27日) | 2月3日 | 第5回ワークショップ「シルクロードであーと
体験」 |
| 7月29日 | キッズサマーコンサート | 2月10日 | 第6回ワークショップ「シルクロードであーと
体験」 |
| 8月4日 | 博物館実習(～8月9日) | 2月11日 | 企画展開連事業「モリンホール(馬頭琴)の調
べ」 |
| 8月8日 | アート・コレクション「二口志保子」
(～9月10日) | | 企画展開連事業「門前町の文化と食」 |
| | 「教師のためのアートガイダンス」 | 2月13日 | 実技講座「篆刻講座」(3月1日まで 日数6日
間) |
| 8月19日 | アート・コレクション「彫刻」(～10月9日) | 2月24日 | 企画展開連事業「ミュージアムコンサート 歌
とピアノ三重奏による「世界と日本の名曲集」
～旅とロマン～」 |
| 8月26日 | 第3回ワークショップ「モノレール・はりっ
子あーと」 | 3月10日 | アート・コレクション「浅井忠の周辺作家」
(～4月22日) |
| 8月29日 | アート・コレクション「国松伽耶・菅谷元三
郎・無縁寺心澄」(～10月9日) | | アート・コレクション「富取風堂」
(～4月15日) |
| 9月2日 | アート・コレクション「金工の世界」
(～10月9日) | | アート・コレクション「浅井忠・フォンタネ
ー吉とバルビゾン派」(～3月31日) |
| 9月12日 | アート・コレクション「青木滋芳」
(～10月9日) | | アート・コレクション「新収蔵作品展」
(～5月6日) |
| 9月16日 | 第4回ワークショップ「そめっ子あーと」 | | アート・コレクション「書之美」(～5月20日) |
| 10月14日 | 美術めぐりの旅 | | |
| 11月18日 | 第30回千葉県移動美術館(～11月28日) | | |

□ 展 示 事 業 □

平成18年度 アート・コレクション展

【第1展示室】 〈小展示コーナー〉

「星 襄一」

会期 平成18年4月11日(火)～5月14日(日)

点数 11点 30日間

1 星 襄一	雪の玉 A	1964
2 星 襄一	星座 No. 42	1967
3 星 襄一	風景 (A) -星月夜-	1970
4 星 襄一	星の森 (大)	1971
5 星 襄一	赤い地平線	1972
6 星 襄一	大樹	1974
7 星 襄一	夜明け	1975
8 星 襄一	王の樹	1976
9 星 襄一	青い一列	1976
10 星 襄一	陽 (林)	1978
11 星 襄一	枯草の風景 (B)	1978

「西村 昭二郎」

会期 平成18年4月25日(火)～5月28日(日)

点数 3点 30日間

1 西村昭二郎	草の鳥	1967
2 西村昭二郎	鴨わたる	1973
3 西村昭二郎	新雪	1984

「浜口 陽三」

会期 平成18年5月16日(火)～6月18日(日)

点数 15点 30日間

1 浜口陽三	草花	1952
2 浜口陽三	顔	1954
3 浜口陽三	うさぎ	1955
4 浜口陽三	西瓜	1955
5 浜口陽三	したびらめ	1956
6 浜口陽三	パリの屋根	1956
7 浜口陽三	ういきょう	1958
8 浜口陽三	緑のぶどう	1958
9 浜口陽三	魚とさくらんぼ	1958
10 浜口陽三	ざくろ	1958
11 浜口陽三	びんとくるみ	1959
12 浜口陽三	ピーマンのある静物	1960
13 浜口陽三	ポプラ	1961
14 浜口陽三	トリコット	1962
15 浜口陽三	赤い鉢と黒いさくらんぼ	1966

「横尾 芳月」

会期 平成18年5月30日(火)～7月2日(日)

点数 4点 30日間

1 横尾芳月	いで湯	1980
2 横尾芳月	鏡獅子	1981
3 横尾芳月	澄心	1984
4 横尾芳月	春風	1986

「安藤 信哉」

会期 平成18年6月20日(火)～7月23日(日)

点数 8点 30日間

1 安藤信哉	みなと	不詳
2 安藤信哉	裸婦	1938
3 安藤信哉	二人	1957
4 安藤信哉	牧歌	1960
5 安藤信哉	パリの窓	1962
6 安藤信哉	軍手	1967
7 安藤信哉	室内	1968
8 安藤信哉	室内	1975

「酒井 亜人」

会期 平成18年7月4日(火)～8月6日(日)

点数 4点 30日間

1 酒井亜人	垣根	1950
2 酒井亜人	晩秋	1952
3 酒井亜人	太海	1954
4 酒井亜人	樹	1955

「大野 隆徳・石井 光楓」

会期 平成18年7月25日(火)～8月27日(日)

点数 12点 30日間

1 石井光楓	タコマ	1925
2 石井光楓	アープル市・場末	1925-1931
3 石井光楓	荷揚げ	1925-1931
4 石井光楓	ブルタニューにて	1931
5 石井光楓	初霜	1964
6 石井光楓	山番の小屋	1971
7 大野隆徳	不忍池の初夏	1929
8 大野隆徳	隅田川	1929
9 大野隆徳	宇治平等院鳳凰堂	1931
10 大野隆徳	信濃路の雪 (2)	1937
11 大野隆徳	北京・北海の春 (一)	1938

平成18年度 アート・コレクション展

12 大野隆徳 香遠亭 不詳

「二口 志保子」

会期 平成18年8月8日(火)～9月10日(日)

点数 7点 30日間

- | | | | |
|---|-------|-------|------|
| 1 | 二口志保子 | 翔ける | 1964 |
| 2 | 二口志保子 | 水面 | 1967 |
| 3 | 二口志保子 | 動 | 1968 |
| 4 | 二口志保子 | 初夏 | 1969 |
| 5 | 二口志保子 | 紬織訪問着 | 1976 |
| 6 | 二口志保子 | 花 | 不詳 |
| 7 | 二口志保子 | 紬織着物 | 不詳 |

「国松 伽耶・菅谷 元三郎・無縁寺 心澄」

会期 平成18年8月29日(火)～10月9日(月)

点数 10点 37日間

- | | | | |
|----|-------|--------|-------|
| 1 | 菅谷元三郎 | 裸婦 | 1928頃 |
| 2 | 菅谷元三郎 | 農婦二人 | 1931 |
| 3 | 菅谷元三郎 | 沼風景 | 1935 |
| 4 | 菅谷元三郎 | 母の像 | 不詳 |
| 5 | 無縁寺心澄 | 医大尖煙突 | 不詳 |
| 6 | 無縁寺心澄 | 旧県庁と噴水 | 不詳 |
| 7 | 国松伽耶 | 自画像 | 1949 |
| 8 | 国松伽耶 | 魚 | 1954 |
| 9 | 国松伽耶 | 青い工場 | 1958 |
| 10 | 国松伽耶 | 教会 | 不詳 |

「青木 滋芳」

会期 平成18年9月12日(火)～10月9日(月)

点数 4点 25日間

- | | | | |
|---|------|----|-------|
| 1 | 青木滋芳 | 洞門 | 1965 |
| 2 | 青木滋芳 | 寂 | 1970 |
| 3 | 青木滋芳 | 早瀬 | 1971頃 |
| 4 | 青木滋芳 | 黒潮 | 1977 |

「浅井 忠Ⅰ」

会期 平成18年11月25日(土)～1月21日(日)

点数 14点 44日間

〈日本画〉

- | | | | |
|---|------|------|-----------|
| 1 | 浅井 忠 | ほしかき | 1890-1897 |
| 2 | 浅井 忠 | 松 | 1892 |
| 3 | 浅井 忠 | 梅 | 1892 |

4 浅井 忠(句:正岡子規) 狂女(付子規句) 1898

5 浅井 忠(句:正岡子規) 古城(付子規句) 1898

6 浅井 忠 餓鬼図 1902-1907

7 浅井 忠 人物風俗図 1902-1907

8 浅井 忠 盗賊 1902-1907

9 浅井 忠 西洋人物群像 不詳

〈工芸〉

10 浅井 忠 茶器(猿蟹合戦ノ図) 1902-1907

11 浅井 忠 茶器(黙語図案) 1902-1907

12 浅井 忠 農家風俗画手塩皿 1902-1907

13 浅井 忠 花瓶 1902-1907

14 浅井 忠 向付皿 1902-1907

「浅井 忠Ⅱ」

会期 平成18年11月25日(土)～1月21日(日)

点数 17点 44日間

〈洋画〉

- | | | | |
|----|------|------------|-----------|
| 1 | 浅井 忠 | 風景(1) | 1878 |
| 2 | 浅井 忠 | 本所風景 | 1878頃 |
| 3 | 浅井 忠 | 沢入駅 | 1884 |
| 4 | 浅井 忠 | 曳舟通り | 1885 |
| 5 | 浅井 忠 | 房州白浜 | 1887 |
| 6 | 浅井 忠 | 房州白浜村 | 1887 |
| 7 | 浅井 忠 | 本と花 | 1889 |
| 8 | 浅井 忠 | 貔子窩第二軍司令部 | 1894-1895 |
| 9 | 浅井 忠 | 金州城壁上 | 1894-1895 |
| 10 | 浅井 忠 | パリ公園 | 1900-1902 |
| 11 | 浅井 忠 | フォンテンブローの森 | 1901 |
| 12 | 浅井 忠 | グレーの塔 | 1901 |
| 13 | 浅井 忠 | 農家 | 1902 |
| 14 | 浅井 忠 | 京都高等工芸学校の庭 | 1903 |
| 15 | 浅井 忠 | 奈良郊外 | 1903 |
| 16 | 浅井 忠 | 老母像 | 1906 |
| 17 | 浅井 忠 | 婦人像 | 1907 |

「浅井忠の周辺作家」

会期 平成19年3月10日(土)～4月22日(日)

点数 13点 38日間

- | | | | |
|---|-------|--------|------|
| 1 | 浅井 忠 | 婦人像 | 1907 |
| 2 | 伊藤快彦 | 林檎 | 不詳 |
| 3 | 梅原龍三郎 | 伊豆大仁風景 | 1929 |
| 4 | 梅原龍三郎 | 竹窓読書図 | 1937 |

平成18年度 アート・コレクション展

5 梅原龍三郎	皇居	1980
6 鹿子木孟郎	風景	不詳
7 黒田重太郎	浴後	1927
8 黒田重太郎	女と小犬	1928
9 桜井忠剛	バラ	不詳
10 都鳥英喜	海浜風景	1909
11 都鳥英喜	村の道	1942
12 安井曾太郎	熱海附近	1929
13 和田英作	塚本靖肖像	1901

「富取 風堂」

会期 平成19年3月10日(土)～4月15日(日)

点数	10点	32日間
1 富取風堂	雛妓納涼図	1926
2 富取風堂	花	1953
3 富取風堂	花籠	1954
4 富取風堂	花	1957
5 富取風堂	雨の花	1963
6 富取風堂	南天	不詳
7 富取風堂	椿と鴛鴦	不詳
8 富取風堂	藤と懸巢	不詳
9 富取風堂	白梅	不詳
10 富取風堂	猫とかに	不詳

【第2展示室】

「浅井 忠・フォンタネージとバルビゾン派」

会期 平成18年4月1日(土)～10月9日(月)

点数	19点	165日間
1 浅井 忠	藁屋根	1887頃
2 浅井 忠	漁婦	1897
3 浅井 忠	母の肖像	1899
4 浅井 忠	フォンテンブローの夕景	1901
5 浅井 忠	農婦	1902
6 浅井 忠	婦人像	1907
7 フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
8 フォンタネージ	池と樹木	1870～72頃
9 オーギュスト・ラヴィエ	モレステルの谷	不詳
10 カミーユ・コロー	フォンテンブローの風景	1830～35頃
11 テオドル・ルソー	バルビゾンの農場	1850～55頃
12 フランソワ・ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
13 フランソワ・ド・ビニー	オワーズ川のほとり	1865
14 ジョージ・ド・ラ・ベニ	森の中の農婦	1868

15 ジュール・デュプレ	森のはずれ	1860年代
16 コンスタン・トロワイヨン	河辺の道	1860～65
17 エミール・ジャック	森の中	1871
18 ギュスターヴ・クールベ	嵐	1865頃
19 ギュスターヴ・クールベ	雪の中の小鹿	1869頃

「アート・セレクション」コレクション50」より」

会期 平成18年11月25日(土)～19年1月21日(日)

点数	22点	44日間
1 フランソワ・ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
2 カミーユ・コロー	ナポリ近郊の思い出	1860～65
3 ギュスターヴ・クールベ	雪の中の小鹿	1869頃
4 ルノワール	少女像	1916～18頃
5 浅井 忠	漁婦	1897
6 梅原龍三郎	竹窓読書図	1937
7 安井曾太郎	熱海附近	1929
8 都鳥英喜	洛北早春	1934
9 岸田劉生	霽れたる冬之日	1917
10 椿 貞雄	八重子像	1918
11 板倉 鼎	金魚	1928
12 原 勝郎	モンマルトル	1935
13 石橋武治	筑波遠望	1953
14 石井柏亭	晩春行楽図	1938
15 中西利雄	トリエール・シュール・セヌ	1930
16 小堀 進	逆光	1974
17 不破 章	二女	1953
18 高村光太郎	手	1918
19 香取秀真	鳩香炉	1949
20 津田信夫	鳳翔薫炉	1937
21 宮之原謙	陶器葡萄彫文壺	1943
22 藤田喬平	飾宮・しだれ桜	1985

「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」

会期 平成19年3月10日(土)～3月31日(土)

点数	18点	19日間
1 浅井 忠	藁屋根	1887頃
2 浅井 忠	小丹波村	1893
3 浅井 忠	フォンテンブローの夕景	1901
4 浅井 忠	農婦	1902
5 フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
6 フォンタネージ	牛を追う農婦	不詳
7 フォンタネージ	池と樹木	1870～72頃

平成18年度 アート・コレクション展

8	オーギュスト・ラヴィエ	モレステルの谷	不詳	27	細谷長生	樂未央宜酒食長久富	1987
9	ガミー・コロ	フォンテンブローの風景	1830~35頃	28	細谷長生	知足者富	1996
10	テオドル・ルソー	バルビゾン ^の 農場	1850~55頃	29	細谷長生	白子大神	2000
11	フランソワ・ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃	30	細谷長生	浦安國璽	2001
12	フランソワ・ド・ビニー	オワーズ川のほとり	1865	31	細谷長生	竜宮之璽	2002
13	デヴィッド・リベラ	森の中の農婦	1868	32	細谷長生	與天無極	2002
14	ジュール・デュプレ	森のはずれ	1860年代	33	松原道男	鴨たちのいる	1997
15	コンスタン・トロワイヨン	河辺の道	1860~65	34	松本弘二	海鹿島の夏	1951
16	エミール・ジャック	森の中	1871	35	松本弘二	満潮の頃	1958
17	ギュスターヴ・クールベ	眠る人	1853				
18	ギュスターヴ・クールベ	雪の中の小鹿	1869頃				

【第3展示室】

「新収蔵作品展」

会期 平成18年5月13日(土)~7月17日(月)

点数 35点 57日間

1	秋元松子	秋の花籠	1978
2	秋元松子	静物	1981
3	秋元松子	枯葉の詩	1994
4	浅井 忠	西洋人物群像	不詳
5	石川 響	天地交響 (ボロボドール)	1984
6	石川 響	渚の祈り	1992
7	石川 響	小湊の朝	1999
8	大浦掬水	ベカ舟	1971
9	大浦掬水	雪の街角	1980
10	木村賢太郎	街角 8	1982
11	木村賢太郎	立っている形 6	1991
12	木村賢太郎	お餅	1993
13	木村賢太郎	波 3	1995
14	木村賢太郎	四つの姿 1	1995
15	木村和一	花と虫	1937
16	木村和一	梅の花	不詳
17	國吉幸舟	大伴家持詩	2001
18	寺本美茂	からまつ林の詩	1978
19	寺本美茂	萃象 (象嵌壺)	1984
20	寺本美茂	陽春飾壺	1992
21	花田忠吾	休日 ^の S 氏	1968
22	花田忠吾	津軽の冬	1988
23	藤田 潤	風の道	1997
24	藤田 潤	風の道	2000
25	細谷長生	大孟鼎 (六屏)	1997
26	細谷長生	徳不孤	1976

「こどものための展覧会」

会期 平成18年7月22日(土)~8月27日(日)

点数 25点 32日間

1	時田直善	^{ようてい} 耀庭	1979
2	富取風堂	游鯉 (其二)	1928
3	富取風堂	蟹	1958
4	富取風堂	親子猿	1964
5	富取風堂	仔馬	1944
6	松尾敏男	原野	1971
7	大野隆徳	李朝の鉢と金魚	1934
8	鶴田吾郎	憶ひ出の広安門	1939
9	鶴田吾郎	水温む	1968
10	鶴田吾郎	朝日連峰	1958
11	熊谷文利	証誠寺交響楽団	1989
12	鳩川誠一	かもめ	1942
13	津田信夫	^{こまよいあひる} 子迷家鴨	1938
14	津田信夫	犬	不詳
15	津田信夫	兎	不詳
16	津田信夫	狸	1941
17	津田信夫	蛙 (二匹)	1934
18	津田信夫	鯰	1941
19	津田信夫	水牛	不詳
20	津田信夫	月下妖麗	不詳
21	生田宏司	^{やびょうし} 猫と夜猫子	1998
22	生田宏司	^{みみづく} 猫と猫頭鷲	1999
23	生田宏司	花園	1999
24	生田宏司	^{こふくろう} 二羽の子梟	1997
25	生田宏司	コタンコルカムイ	1997

平成18年度 アート・コレクション展

「金工の世界」

会期 平成18年9月2日(土)～10月9日(月)

点数 31点

33日間

1 会田富康	蓋のある青銅壺	1965
2 大須賀喬	蝶文黒銅香炉	1983
3 大須賀喬	昆虫文飾皿	1986
4 鹿島一谷	布目象嵌菱つなぎ文南鐙水指	1981
5 香取秀真	千本松文釜	1934頃
6 香取秀真	霊獣文大花瓶	不詳
7 香取秀真	菊文釜	不詳
8 香取秀真	瑞鳥飾三足鉢	不詳
9 香取正彦	鋳銅四神文四方花瓶	1952
10 小林正利	祈り(啓蟄)	1975
11 鈴木治平	湿原の詩	1985
12 関谷四郎	銅鉄壺	1974
13 高村豊周	青銅花入	不詳
14 高村豊周	香炉	不詳
15 帖佐美行	香突と想鳥(集いの為の酒器セット)	1984
16 津田永寿	旬	1968
17 津田信夫	煙草入	1926頃
18 津田信夫	変貌七色	1933
19 津田信夫	一點玲瓏	1934
20 津田信夫	月下妖麗	不詳
21 津田信夫	兎	不詳
22 中村董一	鋳銅花瓶	1935頃
23 西 大由	青銅小壺	不詳
24 信田 洋	黄銅花いらす	1961
25 信田 洋	透壺	1968
26 信田 洋	銀瓶(マーキュリー)	1978
27 信田 洋	夕映の甲斐の山々	1987
28 堀口光彦	日曜日の雨	1977
29 宮田宏平	生命の透間風	1982
30 山室百世	黄銅線條文花瓶	1936
31 山室百世	鋳銅芽花瓶	1955

「新収蔵作品展」

会期 平成19年3月10日(土)～5月6日(日)

点数 22点

50日間

1 上野泰郎	よろずの民	1991
2 上野泰郎	うつくしい地	2000
3 中島千波	identity※'05-9-white zone	2005
4 篠崎輝夫	シヌへの旅(翔)	1974

5 篠崎輝夫	絵馬による作品	1979
6 篠崎輝夫	張鷟出西域	1991
7 篠崎輝夫	西安石馬	1994
8 篠崎輝夫	西安古潭	2005
9 篠崎輝夫	台北郊外	1988
10 篠崎輝夫	蘇州の水路	1991
11 篠崎輝夫	敦煌莫高窟	1996
12 篠崎輝夫	陽関遠望	1997
13 篠崎輝夫	キジルカハ土塔烽火台	1998
14 篠崎輝夫	黒水城	2000
15 篠崎輝夫	高昌故城より火焰山	2001
16 篠崎輝夫	ベセクリク千仏洞	2001
17 篠崎輝夫	交河故城	2001
18 篠崎輝夫	スバシ故城	2001
19 篠崎輝夫	小雁塔	2002
20 篠崎輝夫	桂林漓江桃源	2002
21 篠崎輝夫	雲南苗族の娘さん	2002
22 中台青陵	杜甫詩 飲中八仙歌	1972

【第8展示室】

「抽象の絵画」

会期 平成18年4月15日(土)～6月18日(日)

点数 16点

56日間

1 重田良一	山臥龍	1986
2 高松健太郎	海辺・星	1986
3 行木正義	コンポジションB	1952
4 行木正義	青の中の棒の遊び	1958
5 行木正義	作品81	1981
6 行木正義	Paris	1984
7 行木正義	空間志向	1989
8 行木正義	空間吟詠	1990
9 行木正義	Iに斜線	1993
10 萩原譲治	地平線に贈る言葉(愛)	1997
11 針生鎮郎	家族	1963頃
12 針生鎮郎	いちご畑・ボス	1965
13 針生鎮郎	あかい	1983
14 針生鎮郎	王と妃・面III	1988
15 三橋兄弟治	作品(II)	1967
16 三橋兄弟治	白いスペースに於ける直線の構成A	1968

平成18年度 アート・コレクション展

「ガラスの彩り」

会期 平成18年 6月24日(土)～8月13日(日)

点数 34点

44日間

1 岩田藤七	貝	1962
2 岩田藤七	盛器	1969
3 岩田藤七	水指 (ささやき)	1973
4 岩田藤七	貝	1974
5 岩田藤七	瓶	1975
6 岩田藤七	花器	1975
7 岩田藤七	花器	1975
8 岩田藤七	茶碗	不詳
9 岩田藤七	茶碗	不詳
10 各務鉦三	水指	不詳
11 各務鉦三	花瓶	不詳
12 山室百世	桃花模様ランブシェット	1932
13 藤田喬平	花瓶・三彩	1962
14 藤田喬平	緑の花	1967
15 藤田喬平	流動・牡丹	1967
16 藤田喬平	岳	1968
17 藤田喬平	光輝	1970
18 藤田喬平	ヴェニス・スタンド	1982
19 藤田喬平	ヴェニス賛歌	1983
20 藤田喬平	三彩花盛鉢	1983
21 藤田喬平	ヴェニスの灯	1984
22 藤田喬平	三彩鉢	1984
23 藤田喬平	飾宮・琳派	1985頃
24 藤田喬平	ヴェニス・スタンド	1986
25 藤田喬平	容	1987
26 藤田喬平	飾宮・日輪	1993
27 藤田喬平	飾宮・五色の舞	1998
28 藤田喬平	彩環	1993
29 岩田久利	花器	1976
30 岩田久利	鉢	1984
31 岩田久利	花器	1986
32 岩田久利	水指	1986
33 岩田久利	花器	1989
34 岩田久利	花器	1990

「彫刻」

会期 平成18年 8月19日(土)～10月9日(月)

点数 8点

45日間

1 池田丈一	ひねくれた正12面体	1987
2 池田丈一	ひねくれた正4面体	1981
3 大国丈夫	ヨガ	1984
4 木村賢太郎	待っている時	1965
5 伴 正史	人「無言」	1997
6 堀川 恭	丸いフォルム	1975
7 堀川 恭	聖なる佇立	1981
8 米林雄一	Circle and triangle	1983

「書の美」

会期 平成19年 3月10日(土)～5月20日(日)

点数 15点

62日間

1 揚石舒雁	変奏二種	1998
2 浅見喜舟	晋陶弘景語	1955
3 浅見喜舟	面壁九年	1982
4 今関脩竹	ふるさと	1981
5 今関脩竹	白雪	1983
6 小川瓦木	了々	1988
7 小暮青風	春野に	1993
8 小暮青風	刀祢河泊之	不詳
9 鈴木方鶴	一笑千山青	1984
10 高澤南総	春風秋月	1965
11 高澤南総	一道飛泉萬松裡	1976
12 高宮金陵	山部赤人歌	不詳
13 千代倉桜舟	宗左近の詩	1988
14 中台邱園	盧綸詩	1986
15 中村象閣	古泉千樞の和歌	1972

平成18年度 千葉県立美術館・博物館合同企画事業「染めと織り」

会場 第3展示室
会期 平成18年11月25日(土)～平成19年1月14日(日) 38日間
点数 23点
入場者数 4,384名

	作家名	作 品 名	制作年
1	青木滋芳	寂	1970
2	青木滋芳	早瀬	1971
3	青木滋芳	洞門	1965
4	上野斌郎	二婦人染色壁掛	不詳
5	上野斌郎	草花図染色屏風	不詳
6	上野斌郎	朝鮮風俗染色三曲衝立	不詳
7	上野斌郎	楽園染色壁掛	不詳
8	上野斌郎	染色壁掛蓼畑	1930
9	木村和一	花と虫	1937
10	二口志保子	紡織着物	不詳
11	二口志保子	水面	1967
12	深澤範子	今日も明日も	1983
13	松原利男	藍形染着物 浜辺文	1993
14	松原利男	長板中形 鯉文	1998
15		大漁旗	不詳
16		万祝(かつお)	昭和期
17		万祝(鶴亀虫珠まぐろ)	昭和期
18		万祝(打瀬網)	昭和期
19		万祝(くじら)	昭和期
20		草木染植物標本	昭和～平成
21		万祝裾文様用型紙	昭和～平成
22		手拭・家紋用型紙	昭和～平成
23		型染道具類一式	昭和～平成

企画展「日本のわざと美」展－重要無形文化財とそれを支える人々－

会場	第8展示室
会期	前期 平成18年11月25日(土)～12月10日(日) 後期 平成18年12月12日(火)～12月24日(日) 26日間
展示点数	151点
入場者数	3,568名

(重要無形文化財保持者)

作家名	作 品 名	制作年
1 富本憲吉	色絵草花文角鉢	1937
2 加藤土師萌	吹墨色絵水禽文大皿	1963
3 藤本能道	草白釉釉描金銀彩遠山夕陽図八角大皿	1987頃
4 十三代今泉今右衛門	色絵吹重ね珠樹草花文鉢	2001
5 十四代酒井田柿右衛門	濁手枝垂桜文鉢	1990
6 三代徳田八十吉	燿彩鉢「心円」	1988
7 吉田美統	釉裏金彩鉄仙文鉢	1992
8 近藤悠三	染付岩文壺	1960
9 井上萬二	青白磁彫文鉢	1987
10 塚本快示	青白磁華彫水盤	1979～81
11 三浦小平二	青磁飾り壺「バザールへ(アフガン)」	1990
12 松井康成	晴白練上陶管	1993
13 加藤卓男	三彩花器「爽容」	1993
14 石黒宗麿	黒釉褐斑鳥文鉢	1955
15 清水卯一	鉄燿扁壺	1986
16 原清	鉄釉花鳥文大壺	2005
17 田村耕一	刷毛目鉄絵葡萄文大壺	1973
18 五代伊藤赤水	無名異練上花紋鉢	1997
19 荒川豊蔵	志野波に千鳥文鉢	2001
20 鈴木蔵	志野茶碗	2001
21 荒川豊蔵	瀬戸黒茶碗	1959頃
22 三代山田常山	常滑自然釉茶注	1975頃
23 金重陶陽	四方皿	1954頃
24 藤原啓	備前筒形花生	1963
25 山本陶秀	大海茶入	1984
26 藤原雄	備前大徳利	1968
27 伊勢崎淳	黒四方削花入	2003
28 三輪休和	萩水指	1967
29 三輪壽雪	鬼萩割高台茶碗	2003
30 中里無庵	唐津水指	1958
31 金城次郎	魚文抱瓶	1960～65
32 浜田庄司	柿釉鉄絵丸文大鉢	1962
33 島岡達三	地釉縄文象嵌壺	1999

34	喜多川平朗	黄地牡丹文倭錦	1960
35		※ 黄地入子菱地臥蝶丸文様二陪織物表着	1981頃
36	喜多川俵二	頭紋紗地二陪織物夏桂淡青色籠目襷撫子丸文様	1995
37		※ 風通錦 牡丹文	1985
38	喜多川平朗	上代無文羅	1957
39		※ 上代有文羅	1957
40	北村武資	碧地透文羅裂地	2000
41		※ 群青地透文羅裂地	2002
42	北村武資	黄地モール経錦裂	1999
43		※ 扇面尽し文経錦丸帯	2003
44	志村ふくみ	紬織着物 湖北残雪(白)	1981
45		※ 紬織着物「光の湖」	1991
46	佐々木苑子	絵紺紬着物「星の原」	2001
47		※ 絵紺紬着物「秋つ方」	2003
48	宗廣力三	紬織着物朱赤丸文格子	1976
49		※ 格子竹文様藍地紺着物	1983
50	細見華岳	綴帯 花苑	1998
51		※ 綴帯 連想	2002
52	甲田栄佑	精好仙台平袴・飛鳳	1955~60
53		※ 精好仙台平袴地「松濤」	1961
54	甲田綏郎	精好仙台平袴地「雲溪」	2004
55		※ 精好仙台平「蓬萊山」	1970
56	小川善三郎	帯 七献立献上博多織	1971
57		※ 献上博多帯	1972
58	小川規三郎	問道名古屋帯	1985
59		※ 献上帯	2004
60	古賀フミ	佐賀錦網代地流籠目文帯 朝東風	1978
61		※ 佐賀錦鍵文能管袋「聴雪」	1997
62	宮平初子	茶地御殿柄首里手縞着物	1983
63		※ 花倉織着物「首里城の春」	1998
64	與那嶺貞	木綿紺地格子に経緯紺カジマヤー文様花織胴服	1979
65		※ 木綿紺地格子緯紺緯浮花織着尺	2001
66	平良敏子	芭蕉布着尺「コーシ紺」	1991
67		※ 芭蕉布着尺「紺地 トウィグワール トーニー ハナアーシー」	2001
68	田畑喜八	縮緬地友禅裾引留袖「落葉」	1954
69		※ 一越縮緬地鳳凰桐文振袖	1954
70	上野為二	友禅赤茶地鶏落葉文訪問着「暁声」	1938
71		※ 一越縮緬地友禅訪問着・歓喜	1954
72	木村雨山	一越縮緬地友禅振袖・鴛鴦群遊図	1954
73		※ 縮緬地臈纈友禅染訪問着「花」	1961
74	中村勝馬	縮緬地友禅留袖「雲文」	1961
75		※ 黒留袖「青海波」	1964
76	森口華弘	縮緬地友禅笹文着物 残雪	1969
77		※ 友禅訪問着「精華」	1989
78	山田貢	友禅訪問着 麦	1969
79		※ 紬地友禅着物 夕風	1977
80	羽田登喜男	双美縮緬地友禅鴛鴦文訪問着	1961
81		※ 高雅縮緬地友禅訪問着「越前花野」	1989
82	田島比呂子	縮緬地友禅竹林鷺図訪問着	1966
83		※ 青東風 友禅訪問着「雲表に咲く」	2000
84	山田栄一	訪問着牡丹模様中振	1954
85		※ 縮緬地友禅揚子糊黒留袖「池塘遊嬉」	1956

1955	木綿地型絞染野草笹四田模様着物	86	稲垣稔次郎
1961	※ 木綿地型絞染壁掛・麦の穂浪	87	
1961	印金紅型秋草文長着	88	鎌倉芳太郎
1983	※ 藍臙型着物「南溟」	89	
1973	木綿地六行いろは文二曲屏風	90	芹沢銈介
1968	※ 型絞染木目模様着物	91	
1952	大地白鷹菊くす玉文浴衣	92	松原定吉
1952	※ 地白江戸風物文着尺	93	
1952	京迫掛紗綾地蛤文浴衣	94	清水幸太郎
1985	※ 長板中形「鶴に雲」	95	
1958	清雅地江戸小紋着物 似たり竹の節	96	小宮康助
1958	※ 清雅地江戸小紋着物 極絞	97	
1978	縮緬地江戸小紋着物「節筋」	98	小宮康孝
1985	※ 江戸小紋「菊格子」	99	
1996	芭蕉布地西面紅型着物(梯梧文様)	100	玉那覇有公
2002	※ 紅型西面着物「雪輪に蝶々草花模様」	101	
2000	織箔訪問着「象」	102	福田喜重
2005	※ 刺繍訪問着「和」	103	
不詳	御所伽	104	南部芳松
1952	桜互の目紋	105	中島秀吉
1952	さや極紋(二枚型)	106	中村勇二郎
1960	丁字	107	六谷紀久男
1979	七五三縞	108	児玉博
1992	※ 変わり均通し	109	城ノ口みゑ
1956	正藍染麻地着尺	110	千葉あやの
不詳	※ 正藍染単衣	111	
1955頃	※ 切平緒紫綾七桁唐組	112	深見重助
1957	※ 唐組紫綾繞平緒	113	
不詳	青銅花入	114	高村豊周
1995	蠟型吹分花器「北辛」	115	齋藤明
2000	鑄ぐるみ鑄銅花器	116	大澤光民
1960	蠟型鑄銅置物「三禽」	117	佐々木象堂
1958	矢筈釜	118	長野埜志
1985	馬ノ図真形釜	119	角谷一圭
1986	姥口釜 八方面取	120	高橋敬典
1928	鸚鵡小禽葡萄紋宮	121	海野清
1968	流線文黄銅壺	122	内藤四郎
1981	臙銀柳汀文花器	123	鹿島一谷
1976	鑄銅象嵌六方花器	124	金森映井智
1967	銀象嵌鉄鳴文箱	125	増田三男
1979	火焰金具	126	鴨下春明
2003	重ね象嵌臙銀花器「草原の森」	127	中川衛
1963	八つ木瓜形唐草象嵌罎	128	米光光正
1963~64	肥後象嵌技術記録	129	
1974	銅鉄壺	130	関谷四郎
1997	銀打込象嵌花器 若芽	131	奥山峰石
1984	鍛臙銀面取鉢	132	田口壽恒

(重要無形文化財保持団体)

1	柿右衛門製陶技術保存会	柿右衛門濁手牡丹椿文壺	1971
2	色鍋島今右衛門技術保存会	色絵唐花文高台皿	1991
3	小鹿田焼技術保存会	飛鉋尺三寸皿	1996
4	本場結城紬技術保持会	平結城大名縞単衣	1957
5	※	平結城霞格子単衣	1957
6	越後上布・小千谷縮布 技術保存協会	地染唐草文縮着尺	1953
7	※	越後上布「紺地200十絰」	1995
8	重要無形文化財 久留米絰技術保持者会	久留米絰着物「笹舟」	1991
9	※	久留米絰着物「わらび文」	1991
10	喜如嘉の芭蕉布保存会	朱地煮綴芭蕉布着物「綾仲」	1992
11	※	芭蕉布着尺「サバキバー マユビチー」	1998
12	久米島紬保持団体	久米島紬着尺「モロ紬「八十八 六玉 トリ ビーマ」	1994
13	※	久米島紬着物「モロ紬 バンジョー トウイグワァー ジンダマー」	2006
14	宮古上布保持団体	宮古上布着尺(大柄)	1994
15	※	宮古上布着尺(中柄)	1994
16		突彫 京小紋風竹に縁起柄	1998
17		錐彫 秋野に虫籠	1999
18	伊勢型紙技術保存会	道具彫 菊菱と絰つなぎ	1999
19		縞彫 毛万譜立割(26本)	1999

※は後期展示作品

企画展「一悠久のロマンを現代にー篠崎輝夫」

会期	平成19年1月27日(土)～3月4日(日)	32日間
会場	第1・2・8展示室	
展示点数	105点	
入場者数	5,724名	

1 篠崎輝夫	河岸	1949	38 篠崎輝夫	西域記	1990
2 篠崎輝夫	老いた父	1953	39 篠崎輝夫	自画像	1991
3 篠崎輝夫	絵馬堂	1955	40 篠崎輝夫	敦煌遙か	1992
4 篠崎輝夫	三重奏	1958	41 篠崎輝夫	西域考	1992
5 篠崎輝夫	横たわる	1959	42 篠崎輝夫	雷電	1993
6 篠崎輝夫	安息	1959	43 篠崎輝夫	蹟(西安回想)	1993
7 篠崎輝夫	回心	1960	44 篠崎輝夫	張騫西域へ	1993
8 篠崎輝夫	よしま鉦	1960	45 篠崎輝夫	西安回想	1993
9 篠崎輝夫	絵馬	1960	46 篠崎輝夫	ある壁画のためのエスキース	1993
10 篠崎輝夫	生贄への旅	1966	47 篠崎輝夫	石馬長安	1994
11 篠崎輝夫	嘶く	1969	48 篠崎輝夫	西域紀行	1995
12 篠崎輝夫	貢献の旅	1972	49 篠崎輝夫	敦煌	1996
13 篠崎輝夫	エジプト紀行より-蹟-	1972	50 篠崎輝夫	西域残映	1997
14 篠崎輝夫	牧舎午后	1973	51 篠崎輝夫	小さな水たまり	1998
15 篠崎輝夫	貢献の旅	1973	52 篠崎輝夫	乾陵石馬	1998
16 篠崎輝夫	シヌへの旅(翔)	1974	53 篠崎輝夫	小雁塔の月	2000
17 篠崎輝夫	絵馬による	1976	54 篠崎輝夫	カラホト追想	2000
18 篠崎輝夫	南部絵馬より	1976	55 篠崎輝夫	タクラマカン砂漠	2000
19 篠崎輝夫	母と子	1976	56 篠崎輝夫	天山南路をゆく	2001
20 篠崎輝夫	絵馬による	1977	57 篠崎輝夫	高昌故城	2001
21 篠崎輝夫	南部絵馬より	1977	58 篠崎輝夫	西域記	2002
22 篠崎輝夫	絵馬による作品	1978	59 篠崎輝夫	西域記	2002
23 篠崎輝夫	絵馬による作品	1978	60 篠崎輝夫	河西回廊	2003
24 篠崎輝夫	絵馬による作品	1979	61 篠崎輝夫	西域記	2003
25 篠崎輝夫	絵馬による作品「蹟」	1980	62 篠崎輝夫	西域追想	2004
26 篠崎輝夫	絵馬による作品(翔)	1980	63 篠崎輝夫	遙かなり敦煌	2004
27 篠崎輝夫	西域記	1982	64 篠崎輝夫	オアシス	2004
28 篠崎輝夫	天馬来A	1982	65 篠崎輝夫	八島	2004
29 篠崎輝夫	河西通廊	1983	66 篠崎輝夫	西域古潭	2005
30 篠崎輝夫	西域行	1983	67 篠崎輝夫	T子像	不詳
31 篠崎輝夫	西域行	1984	68 篠崎輝夫	とし子夏	不詳
32 篠崎輝夫	シルクロードの旅より「蹟」	1985	69 篠崎輝夫	石垣のある風景	不詳
33 篠崎輝夫	シルクロードの旅より「乾陵」	1986	70 篠崎輝夫	宗吾譚	不詳
34 篠崎輝夫	敦煌	1986	71 篠崎輝夫	はにわ白と黒	不詳
35 篠崎輝夫	西域行	1988	72 篠崎輝夫	エジプト	不詳
36 篠崎輝夫	天山北路	1988	73 篠崎輝夫	絵馬による	不詳
37 篠崎輝夫	西域望見	1989	74 篠崎輝夫	絵馬による	不詳

75	篠崎輝夫	高昌故城天山南路	不詳	関連展示「成田今昔一篠崎輝夫が住んだ街」	39
76	篠崎輝夫	カシュガルの街	1986	会期 平成19年1月27日(土)～3月4日(日)	40
77	篠崎輝夫	成田山公園浮御堂	1989	会場 第3展示室	41
78	篠崎輝夫	桂林の古き村	1990	展示点数 67点	42
79	篠崎輝夫	蘇州南林飯店の雨	1990		43
80	篠崎輝夫	蘇州の水路	1991	1 谷 文晁 絵馬「繫馬の図」	44
87	篠崎輝夫	破城子故址	1997	2 大西椿年 絵馬「牧童の図」	45
88	篠崎輝夫	敦煌沙州故城	1997	3 篠崎輝夫 《絵馬による作品「蹟」》	46
89	篠崎輝夫	敦煌郊外の家	1997	4 篠崎輝夫 《雷電》ポスター	47
90	篠崎輝夫	榆林窟の丘	1997	5 篠崎輝夫 《雷電》	48
91	篠崎輝夫	北京天壇	1997	6 篠崎輝夫 《八島》	49
92	篠崎輝夫	鳴沙山	1997	7 篠崎輝夫 《八島》ポスター	50
93	篠崎輝夫	キジルカハ土塔	1998	8 篠崎輝夫 《成田山公園浮御堂》	51
94	篠崎輝夫	榆林窟	1998	9 写真パネル「成田山額堂」	52
95	篠崎輝夫	スバシ故城	1998	10 看板「萬病加減錦袋圓藥」	53
96	篠崎輝夫	アクスの老人イムラムゼトホテさん	1998	11 看板「一粒丸」	54
97	篠崎輝夫	キジル千仏洞	1998	12 看板「血留明治散」	55
98	篠崎輝夫	敦煌大泉河	1998	13 看板「明王散」	56
99	篠崎輝夫	敦煌のろば	1998	14 看板「漢藥古名剤方 養肺のくすり」	57
100	篠崎輝夫	馬純禄(桂林の老人)	2000	15 看板「料理屋 濱屋」	58
101	篠崎輝夫	阿斯古萌肉孜さん(キジル)	2001	16 看板「須田洋裁所」	59
102	篠崎輝夫	マファモベッティさん(トルファンの老人)	2001	17 「藥袋」	60
103	篠崎輝夫	ウィグル帽の老人	2001	18 「藥(一粒丸・血留切きずの藥)」	61
104	篠崎輝夫	粉彩女立俑	2002	19 写真「木内薬局一粒丸看板」	62
105	篠崎輝夫	西安小雁塔	2004	20 写真「大徳藥舗」	63
				21 写真「藤倉屋」	64
				22 写真「花外亭」	65
				23 写真「亀谷堂」	66
				24 写真「二軒屋店先」	67
				25 写真「蓬莱閣ホテル」	
				26 写真「旅館若松本店」	
				27 写真「田町通り」	
				28 写真「幸町通り」	
				29 写真「花崎町通り」	
				30 写真「上町通り」	
				31 写真「山本堂諸岡書舗」	
				32 写真「成田病院」	
				33 「成田みやげ」(絵葉書)	
				34 「下総成田町坂本支店絵葉書」	
				35 「下総成田町坂本本店絵葉書」	
				36 「御繪葉書(ひしや旅館)」	
				37 「開運橋開通記念絵葉書」	
				38 写真「成田山公園」	

39 「千葉県成田山新勝寺鳥瞰図」	1938
40 「成田山全図」	1912
41 写真「開運橋」	不詳
42 写真「通天閣の遠望」	不詳
43 写真「成田山公園全景」	大正期
44 「成田名所図絵」	1858刊
45 「成田霊場誌」	1877
46 「成田繁盛記」	1877
47 「成田利生記」	明治期
48 「成田 香取 鹿嶋下総道中細見記」	近世後期
49 「新版 成田参詣図」	近世後期
50 「旅人御改書留帳」	1804
51 写真「高架橋が完成した省線成田駅」	1918
52 写真「成田鉄道成田駅」	大正初
53 写真「成田鉄道汽車中の喫茶室」	1903
54 写真「成田鉄道株式会社」	1916
55 写真「成鉄バス」	1937
56 写真「成宗電車門前停留所」	1910
57 写真「成宗電車宗吾停留所」	大正期
58 写真「成宗電車」	1911頃
59 写真「成宗電車大袋停留所」	1911
60 写真「成宗電車の花電車」	1919
61 写真「飯田新田停留所」	大正期
62 写真「成宗電車成田停留所」	1910
63 写真「軽便鉄道東成田駅」	不詳
64 写真「軽便鉄道法華塚駅」	1935頃
65 「成田多古間軽鐵風景繪葉書」	不詳
66 「宮内省下総牧場 三里塚の桜」	不詳
67 写真「京成電車宗吾トンネル」	1926

第30回千葉県移動美術館

銚子市市民センターを会場として日本画・洋画・彫刻・工芸・書・版画の各分野にわたる千葉県立美術館の所蔵作品を紹介するとともに、第58回千葉県美術展覧会の受賞作品も併せて展示した。

会期 平成18年11月18日(土)～28日(火) (20・23・27日は休館) 8日間

会場 銚子市市民センター

展示点数 39点

入場者数 1,099名

[日本画]

1 渡辺 学	川口	1976
2 富取風堂	游鯉(其一)	1928
3 五十嵐 幹	かくれんぼ	1983
4 松尾敏男	原野	1971

[工芸]

24 香取秀真	笑獅子香炉	1946
25 津田信夫	兔	不詳
26 三橋英作	象嵌花器(展)	1984
27 藤田喬平	飾宮朱雀	1985
28 信田 洋	黒孔雀の瓶	1967

[洋画]

5 寺田政明	犬吠灯台の見える外川港	1985
6 小山周次	銚子犬吠埼	1961
7 椿 貞雄	犬吠埼	1948
8 十亀広太郎	犬吠埼	1889~1951
9 時田幸彦	犬吠	1991
10 松本弘二	海鹿島の夏	1951
11 浅井 忠	小丹波村	1893
12 石井柏亭	舞姫	1953
13 梅原龍三郎	皇居	1980
14 中西利雄	人物	1936
15 小堀 進	南欧の丘	1962
16 山本不二夫	ハイデルベルグ風景	不詳
17 ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1847
18 コロー	フォンテンブローの風景	1830~35
19 クールベ	眠る人	1853
20 フォンタネージ	牛を追う農婦	不詳

[書]

29 小川瓦木	侃のイメージ	1963
30 鈴木方鶴	万昌	1973
31 千代倉桜舟	左近の詩	1994

[版画]

32 浜口陽三	びんとレモンと赤い壁	1989
33 池田満寿夫	遥かなる通り	1970
34 金子周次	犬吠灯台	不詳
35 深沢幸雄	人	1969

第59回県展《県展賞》受賞作品

1 落合初美	中へ	2006
2 田所雅子	夢の行方	2006
3 上瀧浩一	布染彩磁壺	2006
4 半田藤扇	雨洗風磨	2006

[彫刻]

21 高村光太郎	裸婦坐像	1916
22 大川逞一	聖観音	1967
23 藤野天光	希望	不詳



□ 普及事業 □

（一）普及事業の目的
普及事業の目的は、社会の発展と個人の幸福を促進することである。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（二）普及事業の重要性
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（三）普及事業の推進方法
普及事業の推進方法としては、政府、民間企業、市民団体など様々な主体が連携して取り組むことが重要である。

（四）普及事業の効果
普及事業の効果としては、社会の発展と個人の幸福の促進、社会の安定と平和の維持、社会の発展と個人の幸福の促進などがある。

（五）普及事業の課題
普及事業の課題としては、資金不足、人材不足、社会の意識の低さなどがある。

（六）普及事業の展望
普及事業の展望としては、社会の発展と個人の幸福の促進、社会の安定と平和の維持、社会の発展と個人の幸福の促進などがある。

（七）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（八）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（九）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（十）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（十一）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（十二）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（十三）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。



（十四）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（十五）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（十六）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（十七）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（十八）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（十九）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

（二十）普及事業のまとめ
普及事業は、社会の発展と個人の幸福を促進するための重要な手段である。これには、教育、文化、スポーツ、健康など様々な分野での取り組みが必要である。

《県立美術館・博物館合同企画事業「染めと織り」関連事業》

染め織りの展示の中から、関連する染料として「柿渋」を用いた簡単な描き染めを実施した。刷毛で好みの模様を染める「コースターを染めよう」と、型紙彫り後、合羽摺りで染める「テーブルセンターを染めよう」の2種類の創作体験を実施し、染色に親しむ機会を提供した。

■ワークショップ「コースターを染めよう」

1回目

期 日 12月2日(土) 13:00～15:30
場 所 第2休憩室(第3展示室に隣接)
参加者数 52名

2回目

期 日 12月9日(土) 13:00～15:30
場 所 第2休憩室(第3展示室に隣接)
参加者数 53名



■ワークショップ「テーブルセンターを染めよう」

期 日 1月7日(日) 13:00～14:00
14:30～15:30
場 所 第1・第2アトリエ
参加者数 36名

《企画展「日本のわざと美」展－重要無形文化財とそれを支える人々－関連事業》

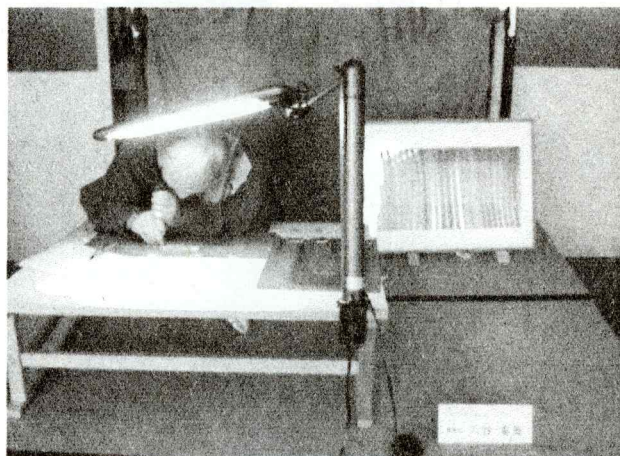
■製作実演「伊勢型紙彫り」

重要無形文化財保持団体である「伊勢型紙技術保存会」の会員4名により、染色に用いる伊勢型紙の主要な技法「錐彫り」「突彫り」「縞彫り」「道具彫り」の製作実演を行った。

期 日 11月25日(土)・26日(日)

10:00～12:00 13:00～16:00

会 場 第7展示室
見学者 1,124名



■ワークショップ「はがきを染めよう」

伊勢型紙技術保存会の講師を招き、渋紙に好みの図柄を彫る型紙彫りを行った。また絵の具で色差しを行い、年賀状などのはがきを作る創作体験を実施した。

期 日 11月26日(日) 13:00～15:30
場 所 第7展示室
講 師 伊勢型紙技術保存会

坂 哲雄氏・宮原敏明氏

参加者数 47名

■美術講演会「色鍋島のころ」

重要無形文化財保持者である陶芸家で、色鍋島今右衛門技術保存会会長でもある第14代今泉今右衛門氏を講師に招き、講演会を実施した。

期 日 12月3日(日) 14:00～15:30
場 所 講堂
参加者数 112名

■「浅間神社神楽上演会」

千葉県指定無形民俗文化財に指定されている稲毛区の浅間神社の神楽連を招き、8座の舞を行った。

期 日 12月10日(日) 13:00～15:00
場 所 講堂
参加者数 188名

《企画展「一悠久のロマンを現代に―篠崎輝夫」関連事業》

■美術講演会「篠崎輝夫を語る」

篠崎輝夫と同時代に画壇で活躍した、洋画家で日本芸術院会員である寺坂公雄氏を講師に招き、講演会を実施した。

期 日 1月27日(土) 13:30～14:30

場 所 講堂

参加者数 210名



■「成田楽笑会による獅子舞」

成田に生まれ、在住した篠崎輝夫にちなんで、毎年7月に旧成田町内を中心に行われる成田祇園祭の祭礼に奉納される獅子舞の上演を実施した。今回は「寿獅子」を上演した。

期 日 1月27日(土) ①10:00～ ②13:00～

場 所 第7展示室

参加者数 ①49名 ②89名

■「門前町の文化と食」

成田に生まれ、在住した篠崎輝夫にちなんで、成田市と協力して「JAかとり・香取西部園芸部」「下総朝市組合」「田舎家」「印旛沼漁業協同組合」「前林地区社会福祉協議会」「成田市観光協会」に来館してもらい、成田の物産品の販売、焼き芋の配布、餅つきの実演などを行った。

期 日 2月11日(日) 10:00～16:00

場 所 第7展示室、中庭

■「モリンホール(馬頭琴)の調べ」

篠崎輝夫の絵のモチーフとなったシルクロード

にちなんで、内モンゴル自治区出身で、モリンホール演奏家のエルデンダライ氏を招き、演奏会を実施した。

期 日 2月11日(日) ①11:00～ ②13:30～

場 所 講堂

参加者数 ①108名 ②158名

■ミュージアムコンサート

歌とピアノ三重奏による「世界と日本の名曲集」～旅とロマン～

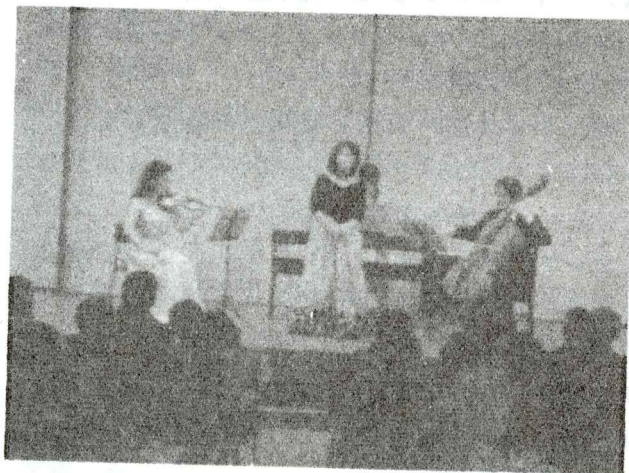
企画展「一悠久のロマンを現代に―篠崎輝夫」の開催中に、歌とピアノ三重奏による「世界と日本の名曲集」～旅とロマン～と題してニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のメンバーによるコンサートを行った。

「ジュピター」や「誰も寝てはならぬ」などのオペラの曲から、「さくら」や「涙そうそう」など親しみのある曲の演奏や、ソプラノ独唱も楽しむことができ好評であった。

期 日 2月24日(土) 14:00～

場 所 講堂

参加者数 210名



■「篠崎輝夫展」関連ワークショップ

こどもの部(小中学生対象)と一般の部(高校生以上対象)に分けて、関連ワークショップを実施し、篠崎輝夫の作品に親しむ場を提供した。また、参加者の作品は、ワークショップで活動中の写真とともに企画展実施期間中第7展示室に展示した。

○第5回ワークショップ「シルクロードであーと体験1」

を簡単な解説やクイズで鑑賞後、篠崎輝夫がモチーフとした、シルクロードに焦点をあてた創作体験を実施した。自由にポーズをとった、等身大の自分の形を段ボール紙に写し取り、シルクロードの布をプリントしたシールやカラーシールなどで装飾をした。

期 日 2月3日(土) 13:00～15:30

場 所 第7展示室

参加者数 38名

○第6回ワークショップ「シルクロードであーと体験2」

企画展「一悠久のロマンを現代に一篠崎輝夫」を簡単な解説で鑑賞後、篠崎輝夫がモチーフとした、シルクロードに焦点をあてた染色体験を実施した。シルクロードで育まれた模様を紹介し、好みの図柄を型紙に彫って、顔料で色差しを行い、テーブルランナーを染めた。

期 日 2月10日(土) 13:00～15:30

場 所 第7展示室

参加者数 19名

《アート・コレクション関連事業》

■「エルシエナ・マンドリンアンサンブルによるマンドリンコンサート」

アート・コレクション展関連事業として、エルシエナ・マンドリンアンサンブルによるマンドリンコンサートを行った。

「セレナータシエナ」、「シエナ組曲より」などを演奏しマンドリンオーケストラ独特の音色が館内に広がった。

期 日 6月3日(土) 14:00～

場 所 第7展示室

参加者数 296名

■「キッズサマーコンサート」

企画展「こどものための展覧会」の開催中に関連事業として、千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部と連携し、こどものためのコンサートを行った。

「動物」をテーマにポルカ「狩りにて」、バレエ組曲「虹の彼方に」などの楽しいコンサートを行い、好評を得た。

期 日 7月29日(土) ①14:00～②15:00～

場 所 第8展示室

参加者数 ①235名 ②221名

■「ワークショップ」

美術館でしか味わえない創作体験学習を通して、親しまれる美術館利用の促進を図るため、展覧会に因んだ内容で以下のワークショップを開催した。

○第1回ワークショップ「ウォールペイントあーと」

80メートルほどの外壁に貼った紙や芝生に敷いた紙、乗用車に自由に絵を描く創作体験を実施した。

期 日 5月14日(日) 13:00～15:00

場 所 美術館野外

参加者数 311名

○第2回ワークショップ「県民の日・エンジョイあーと」

県民の日に近い土曜日に、オリジナルカンパジ、マーブリングのコースター、コロコロスタンプでポストカードを作る創作体験を実施した。

期 日 6月17日(土) 11:00～15:00

場 所 第7展示室前

参加者数 157名



○第3回ワークショップ「モノレール・はりっ子あーと」

千葉都市モノレール会社千葉駅構内の連絡通路に、カラーシールを貼ってデザイン作品を作

る創作体験を実施した。約一ヶ月間、通路で展示し、通行人の目を楽しませた。

期 日 8月26日(土) 13:00~15:00

場 所 千葉都市モノレール会社千葉駅構内

参加者数 111名

○第4回ワークショップ「そめっ子あーと」

藍の生葉から採れる染料で、絹のコースター2種を染めた。また、線香で孔を空けた模様の型紙を作り、藍の顔料で摺り込んでテーブルセンターを染める創作体験を実施した。

期 日 9月16日(土) 13:00~15:30

場 所 第2アトリエ

講 師 安井永子氏

参加者数 24名

《その他の事業》

■「実技講座」

[陶芸講座(応用)]

期 日 5/11(木)・12(金)・18(木)・19(金)・6/2(金)・8(木)(6日間、講師指導日数は6日間)

講 師 神谷紀雄氏

受講者数 28名

内容 基本的な陶芸の知識・技能を修得した者が一人一作品を基本とし、より高度な技能を修得した。

[陶芸講座(基礎)]

期 日 6/15(木)・16(金)・22(木)・23(金)・7/7(金)・13(木)(6日間、講師指導日数は6日間)

講 師 神谷紀雄氏

受講者数 29名

内容 焼成・絵付け・葉掛けなどの制作過程から、用具の取扱いや陶芸の基本的な技法を修得した。

[銅版画講座]

期 日 7/19(水)・20(木)・21(金)・26(水)・27(木)・28(金)(6日間、講師指導日数は6日間)

講 師 上田靖之氏

受講者数 18名

内容 銅版画を通して、版画の持つ魅力を味わい、凹版画の基礎的な技法や幅広い表現力、創作力を修得した。

[ホリデーアート木版画講座]

期 日 11/25(土)・26(日)(2日間、講師指導日数は2日間)

講 師 上田靖之氏

受講者数 21名

内容 木版画を通して版画の魅力を味わい、凸版画の基礎的な技法や幅広い版画の表現力、創作力を修得し年賀状の作成をした。高校生、勤労者も参加できるよう土・日曜に設定した。

[金工講座]

期 日 1/16(火)・17(水)・18(木)・19(金)・23(火)・24(水)・25(木)・26(金)・30(火)・31(水)(10日間、講師指導日数は7日間)

講 師 小林正利氏

受講者数 16名

内容 銅板レリーフと彫金の制作を通して、各種工具の取扱い方を学習するとともに、金工の基本的な技法を修得した。

[篆刻講座]

期 日 2/13(火)・14(水)・15(木)・20(火)・21(水)・3/1(水)(6日間、講師指導日数は6日間)

講 師 細谷恵志氏

受講者数 20名

内容 陶印を通して、篆刻の魅力を堪能し、基本的な技法や用具の取り扱い方を修得した。

■「美術館体験学習」

(インターンシップ・一日学芸員体験等)

平成14年度より施行されている新学習指導要領の趣旨に鑑み、本館と学校教育との連携を密にし、両者が一体となって児童及び生徒が、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるための事業として実施

した。職場体験、職場訪問、インターンシップ、高校生セミナー等を希望する中学生や高校生を対象にした。

内容は、まず美術館の役割や学芸員の仕事を理解するためのガイダンス、バックヤードを含めた館内施設見学、野外彫刻の点検及び鑑賞かアート・コレクションの鑑賞や発表会を行った。また美術工芸品の壺、掛け軸の取り扱いと保管の仕方の実技、ガラス絵や風鈴の絵付け等の創作活動、さらに情報資料の整理等の作業を日数や人数等に応じて実施した。

●参加学校数 中学校－11校、高等学校－5校
参加生徒数 92名

■「教師のためのアートガイダンス」

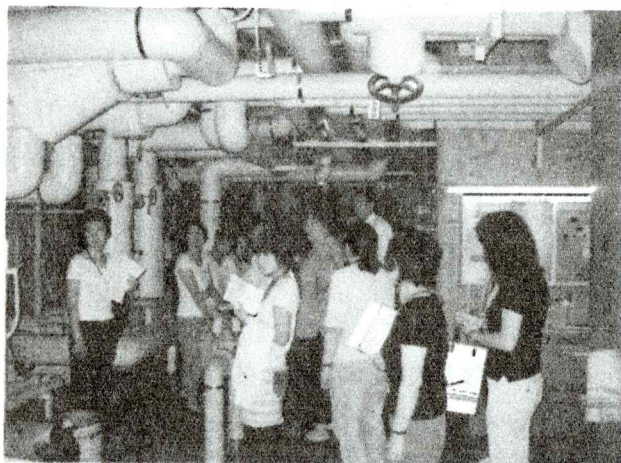
美術館・学校との連携による体験学習講座を行い、新学習指導要領に示された学校の図工・美術・芸術教育等における美術館利用の促進及び学校教育推進に資するために、教師のためのアートガイダンスを行った。

期 日 8月8日(木)第1部 9時～12時
第2部 13時～16時

場 所 研修室、和室、第2アトリエ、講堂、展示室

対象 小・中・高等学校の担当教員

参加者数 ①43名 ②45名 計88名(67校)



■「美術めぐりの旅」

県内外の各地に残された古今の優れた美術品等を訪ねることにより、美術への興味、関心を深め、美術館の活動の充実化及び利用促進を図ることを目的として開催した。

期 日 10月14日(土)

場 所 市川市下総中山

彫刻家大須賀力氏アトリエ、中山法華経寺、市川市東山魁夷記念館、市川市中山文化村(旧片桐邸)、鐵の家ギャラリー

参加者数 13名

《情報資料室》

開館日の13時～16時に開室し、美術情報資料(図書、雑誌、図録、新聞等)の利用に供した。開館日数は300日、利用者は782名であった。また、各地の展覧会やイベントについて、資料室前のロビー等でポスター、チラシ、情報資料室等により、美術情報を提供した。

なお、18年度の収蔵図書については、32冊の寄贈を受け、美術情報資料の充実を図った。総冊数は6,083冊である。

《活動協力》

■博物館実習

各大学の依頼により、学芸員資格取得希望の学生を受け入れた。

期 間 平成18年8月4日(金)～8月9日(水)
筑波大学、武蔵大学、東京女子大学、成蹊大学、道都大学、跡見学園女子大学、大妻女子大学、八洲学園大学、東京学芸大学、学習院大学(各1名)、千葉大学(2名) 合計 11大学12名

■千葉県立美術館友の会

1. 目的

“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気の中で、教養を豊かにし、美術文化の向上を図り会員相互の親睦を深める。

2. 組織

(1)会員数 個人会員380名、賛助会員0名

(2)役 員 会長1名、副会長3名、監事2名、理事若干名

3. 事業

(1)友の会だより「しおさい」の発行、年4回各1,000部印刷し、会員に配布した。

(2)第30回葉美会展の開催

会 期 平成18年9月5日(火)～9月11日(日)

出品者 64名

展示点数 108点

(3)秋の美術鑑賞の旅

美術品や文化財を訪ねながら、親睦を深めるために実施した。

期日 平成18年9月28日(木)

場所 江戸東京たてもの園、府中市美術館、大倉集古館

参加者数 38名

(4)館事業への協力

ミュージアムグッズの販売、実技講座の開催等、県民アトリエ事業に積極的に参加した。

(5)その他

テレフォンカード、絵葉書、額縁、額絵、図書等の販売

4. 平成18年度「友の会実技講座」

「洋画入門講座1」

期日 5/17(水)・18(木)・19(金)・24(水)・25(木)・26(金)

講師 羽生智樹氏

受講者数 30名

「洋画入門講座2」

期日 6/3(土)・4(日)・17(土)・18(日)・24(土)・25(日)

講師 根岸茂行氏

受講者数 16名

「洋画入門講座3」

期日 7/15(土)・16(日)・17(月・祝)

講師 根岸茂行氏

受講者数 27名

「洋画入門講座4」

期日 7/11(火)・12(水)・19(水)・20(木)・25(火)・26(水)

講師 竹久秀樹氏

受講者数 36名

「洋画入門講座5」

期日 8/2(水)・3(木)・4(金)・9(水)・10(木)・11(金)

講師 池田敏男氏

受講者数 28名

「洋画入門講座6」

期日 8/24(木)・25(金)・26(土)

講師 松澤茂雄氏

受講者数 34名

「洋画入門講座7」

期日 10/26(木)・27(金)・28(土)

講師 松澤茂雄氏

受講者数 30名

「洋画入門講座8」

期日 11/2(木)・4(土)・9(木)・11(土)・14(火)・22(水)

講師 根岸茂行氏

受講者数 14名

「洋画入門講座9」

期日 12/7(木)・8(金)・9(土)

講師 松澤茂雄氏

受講者数 29名

「洋画入門講座10」

期日 1/11(木)・12(金)・13(土)

講師 松澤茂雄氏

受講者数 33名

「洋画入門講座11」

期日 2/18(日)・24(土)・25(日)

講師 根岸茂行氏

受講者数 25名

「洋画入門講座12」

期日 3/14(水)・15(木)・16(金)・21(水)・22(木)・23(金)

講師 羽生智樹氏

受講者数 33名

「水彩画講座」

期日 6/7(土)・8(日)・9(土)・14(水)・15(木)・16(金)

講師 青柳光枝氏

受講者数 28名

「日本画入門講座」

期日 2/28(水)・3/1(木)・2(金)・3(土)・
4(日)・9(金)

講師 棚橋文子氏

受講者数 19名

■ボランティア

美術館の活動をより円滑で充実したものとするために、情報資料室レファレンスのボランティアを募集し、活動した。登録者数は12名であった。ワークショップ準備実践(ワークショップサポーター)のボランティアを募集し、活動した。ワークショップサポーターとして9名が参加した。

■美術館講座

平成15年度から、博学融合の理念に基づき、千葉県立八街高等学校の設置する総合学科の授業の充実に協力するため、美術館と高校が相互連携して「美術館講座」を開設した。4月から美術館の学芸職員7名が一年間をとおして、当該講座選択者14名の指導のため当該高校に出向いたり、生徒が美術館で実際の学芸員の仕事を体験したりした。

当講座の内容は、美術館の役割や使命、学芸員の仕事を学び、さらに理解を深めるために、実際に本館の収蔵作品の中から生徒個々が興味・関心のある作品を選定し、調査・研究を行い、情報の発信の仕方や美術工芸品の取り扱いを体験し、最後にその成果を発表する展覧会を開催するというものである。

1月12日(金)～14日(日)に本館にて当該高校生による展覧会「版画のソナタ～HANGA～」を開催し、来館者を前に受講生一人一人が、自分が選んだ作品についてギャラリートークを行った。参加者も多く受講生の達成感もあったようである。なお八街高校の美術館講座は本年度で終了し、来年度以降は県立幕張総合高校との連携を予定している。



平成18年度「美術館講座」年間計画

学期	月	担当日	予定時数	時間	内 容	担当課	場 所	備考
前期	4	12日	6	2	・美術館講座ガイダンス	学芸課	八街高校	
		19日		2	・千葉県立美術館の概要と施設見学 ・美術館の役割及び収蔵作品について(講義)	普及課 学芸課	県立美術館 (研修室等)	
		26日		2	「展覧会をつくる」①課題把握・資料の調査	学芸課		
	5	10日	7	2	「展覧会をつくる」②調査研究 ・調査対象資料の決定・調査研究資料の収集	学芸課	八街高校	午前
		17日		2	・資料及び作家の調査研究	学芸課		
		第1回定期考査		1	・資料及び作家の調査研究	学芸課		
		31日		2	・資料解説パネル作成	学芸課		
	6	7日	8	2	・資料解説パネル作成	学芸課		
		14日		2	・資料解説パネル作成	学芸課		
		21日		2	・資料及び作家のパネル・キャプション作成	学芸課		
		28日		2	・ギャラリートーク原稿作成	学芸課		
	7	4日	4	2	・ギャラリートーク原稿作成	学芸課		午前
		第2回定期考査		1	・ギャラリートーク原稿作成	学芸課		
		答案返却		1	・原稿提出	学芸課		
	8	30日	2	2	・ギャラリートーク原稿の確認 「展覧会をつくる」③構想	学芸課		午前
	9	6日	8	2	・展覧会企画及び役割分担・展覧会名の決定 「展覧会をつくる」④準備	普及課	八街高校 (コンピューター室等)	午前
		13日		2	・チラシ・ポスター等の作成	普及課		
		20日		2	・チラシ・ポスター等の作成	普及課		
		第3回定期考査		1	・チラシ・ポスター等の作成	普及課		
		答案返却		1	・チラシ・ポスター等の作成	普及課		
	計		35					
後期	10	4日	6	2	・チラシ・ポスター等の作成	普及課	八街高校 (コンピューター室等)	
		11日		2	・チラシ・ポスター等の作成	普及課		
		18日		2	・チラシ・ポスター等の作成	普及課		
	11	1日	11	2	・チラシ・ポスター等の作成及び配布計画	普及課		午前
		8日		2	・ワークシート等作成	普及課		
		第4回定期考査		1	・ワークシート等作成	普及課		
		15日		2	・ワークシート等作成	普及課		
		22日		2	「展覧会をつくる」⑤学芸・普及実践 ・美術工芸品の取り扱いと保管	普及課		
	12	29日	2	2	・展示図、調書、等の作成	学芸課	八街高校	午前
		第5回定期考査		1	・展示図、調書、等の作成	学芸課		
		答案返却		1		学芸課		
	1	10日	12	6	・展示作業・展覧会開催 1/12(金)～14(日)	学芸課	県立美術館 (研修室等)	年度末 考査3
		※17日		6	・「ギャラリートーク」1/13(土)14時～	普及課	八街高校	年生
		※24日		0				
		※31日		0				
	2	7日	2	2	・美術館講座最終レポート作成、発表	普及課		
		※21日		0				
	3	第6回定期考査	0	0				午前
		答案返却		0				
		計		33				
	合計		68		法定時数 35週×2単位＝70時間			

Table 1. Summary of the data for the 1990-1991 season.

Year	Month	Day	Time	Location	Species	Count	Notes
1990	Jan	1	08:00	100m	100m	1	
		2	08:00	100m	100m	1	
		3	08:00	100m	100m	1	
		4	08:00	100m	100m	1	
	Feb	1	08:00	100m	100m	1	
		2	08:00	100m	100m	1	
		3	08:00	100m	100m	1	
		4	08:00	100m	100m	1	
	Mar	1	08:00	100m	100m	1	
		2	08:00	100m	100m	1	
		3	08:00	100m	100m	1	
		4	08:00	100m	100m	1	
1991	Jan	1	08:00	100m	100m	1	
		2	08:00	100m	100m	1	
		3	08:00	100m	100m	1	
		4	08:00	100m	100m	1	
	Feb	1	08:00	100m	100m	1	
		2	08:00	100m	100m	1	
		3	08:00	100m	100m	1	
		4	08:00	100m	100m	1	
	Mar	1	08:00	100m	100m	1	
		2	08:00	100m	100m	1	
		3	08:00	100m	100m	1	
		4	08:00	100m	100m	1	
1992	Jan	1	08:00	100m	100m	1	
		2	08:00	100m	100m	1	
		3	08:00	100m	100m	1	
		4	08:00	100m	100m	1	
	Feb	1	08:00	100m	100m	1	
		2	08:00	100m	100m	1	
		3	08:00	100m	100m	1	
		4	08:00	100m	100m	1	
	Mar	1	08:00	100m	100m	1	
		2	08:00	100m	100m	1	
		3	08:00	100m	100m	1	
		4	08:00	100m	100m	1	
1993	Jan	1	08:00	100m	100m	1	
		2	08:00	100m	100m	1	
		3	08:00	100m	100m	1	
		4	08:00	100m	100m	1	
	Feb	1	08:00	100m	100m	1	
		2	08:00	100m	100m	1	
		3	08:00	100m	100m	1	
		4	08:00	100m	100m	1	
	Mar	1	08:00	100m	100m	1	
		2	08:00	100m	100m	1	
		3	08:00	100m	100m	1	
		4	08:00	100m	100m	1	

■平成18年度貸出資料一覧

作家名	作品名	展覧会名	会場 会期	申請者(貸出先)
藤田喬平	飾宮・醍醐 ヴェニス・スタンド	結晶とガラス	千葉県立中央博物館 18. 3. 11～6. 4	千葉県立中央博物館
石井林響	老人と舟 寒山拾得	笑み-歌会始御題に寄せて-	神宮美術館 18. 3. 20～5. 15	式年遷宮記念 神宮美術館
後藤純男	山門雨後	後藤純男展	新潟三越 18. 4. 25～4. 30 名古屋三越栄本店 18. 5. 24～5. 29 福岡三越 18. 6. 6～6. 11 松山三越 18. 9. 15～9. 21	読売新聞東京本社
中西利雄	南仏風景 外房風景 四人の女 曇り日の離宮と駅	2006春季特別企画 水彩画の巨匠 中西 利雄展	常葉美術館 18. 6. 8～7. 9	常葉美術館
浅井忠 〃 〃 河合新蔵 大下藤次郎 三宅克己 加藤源之助 石井柏亭 〃 長谷川良雄 後藤工志 古賀春江 中西利雄 〃 不破 章 〃	グレーの塔 フォンテンブローの森 京都高等工芸学校の庭 春の日 紫陽花 小諸城址 秋の山 (大和初瀬村) 病児 晩春行楽図 晩秋 ダリア 風景 トリエヌ・シュール・セーヌ 人物 二女 三人姉妹	近代日本の水彩画 -その歴史と展開-	茨城県近代美術館 18. 7. 7～9. 17	茨城県近代美術館

作家名	作品名	展覧会名	会場 会期	申請者(貸出先)
浅井忠	朝鮮大同門図	森鷗外と美術	島根県立石見美術館 18. 7. 14～8. 18	島根県立石見美術館 和歌山県立近代美術館 静岡県立美術館
〃	平壤大同江煉光亭		和歌山県立近代美術館 9. 10～10. 22	
〃	金州城外之図		静岡県立美術館 11. 7～12. 17	
松岡寿	森と小川			
小倉惣次郎	伊藤博文像	長沼守敬とその時代	萬鉄五郎記念美術館 18. 7. 15～9. 10 一関市美術館 18. 9. 16～11. 12	萬鉄五郎美術館 一関市美術館
霞囀	CLOUDS HEARTS INSECTS BIRDS ANGELES	霞囀展	宮崎県立美術館 18. 7. 28～8. 27	福井県立美術館 宮崎県立美術館
石井林響	桃源 浦島太郎図	石井林響展	城西国際大学水田美術館 18. 10. 3～10. 28	城西国際大学水田美術館
瑛九 浜口陽三	休日 ざくろ	百年前をのぞいてみ ると？	千葉県立中央博物館 18. 10. 7～11. 5	千葉県立中央博物館
高村豊周 関谷四郎 秋山逸生	青銅花入 銅鉄壺 蝶貝象嵌箱	日本のわざと美 ー重要無形文化財と それを支える人々ー	愛知県陶磁資料館 18. 10. 7～11. 5 千葉県立中央博物館 18. 11. 25～12. 24 千葉県立美術館 18. 11. 25～12. 24	文化庁
田中志奈子	デッサン (棒を持つ裸体) デッサン (裸体) デッサン (神官) デッサン (大原女) デッサン (箒をもつ女) デッサン (裸婦)	素描する人々	目黒区美術館 18. 10. 14～12. 3	目黒区美術館
堀口光彦	日曜の雨 安眠装置	堀口光彦 退任記念展	東京藝術大学大学美術館 18. 11. 2～11. 19	東京藝術大学大学美術館
浅井忠	琵琶法師	揺らぐ近代 日本画と 洋画のはざまに	東京国立近代美術館 18. 11. 7～12. 24 京都国立近代美術館 19. 1. 10～2. 25	東京国立近代美術館 京都国立近代美術館
鈴木鷺湖	蜀の栈道図 農耕の図	鈴木鷺湖展 ー幕末に活躍した郷 土の画家ー	千葉市美術館 19. 1. 20～2. 25	千葉市美術館
津田信夫	煙草入 ー點玲瓏	生活の(かたち) ー豊田勝秋のあゆみ に見る昭和の工芸ー	福岡県立美術館 19. 1. 20～2. 25	福岡県立美術館

■平成18年度 収蔵資料数一覧（平成19年3月31日現在）

《収蔵資料》

種別 \ 受入方法	購 入	寄 付	保管替	合 計
日本画	128	176	25	329
洋画	352	508	42	902
彫刻	83	49	11	143
工芸	149	228	10	387
書	110	151	14	275
版画	175	76	5	256
合計	997	1, 188	107	2, 292

《研究資料》

研究資料	244	1, 318	52	1, 614
------	-----	--------	----	--------

■平成18年度収蔵資料一覧

No.	作家名	作 品 名	制作年	材質・技法	受入方法	寸法(縦×横) cm
1	花田忠吾	休日のS氏	1968	キャンバス・油彩	寄附	145.0×112.0
2		津軽の冬	1988	キャンバス・油彩	寄附	145.5×97.5
3	細谷長生	大孟鼎(六屏)	1997	紙・墨	寄附	170×241.8
4		徳不孤	1976	紙(白文)・石	寄附	7.4×7.2
5		樂未央宜酒食長久富	1987	紙(朱文)・石	寄附	8.9×9.0
6		知足者富	1996	紙(朱文)・磁印	寄附	8.6×8.6
7		白子大神	2000	紙(朱文)・石	寄附	5.9×5.9
8		浦安國璽	2001	紙(白文)・石	寄附	7.6×7.6
9		竜宮之璽	2002	紙(朱文)・銅印	寄附	4.8×4.8
10		與天無極	2002	紙(白文)・石	寄附	6.2×6.2
11	中台青陵	杜甫詩 飲中八仙歌	1973	紙・墨	寄附	140.0×639.6
12	中島千波	identity※'05-9-white zone	2005	紙・着彩	寄附	180.0×363.0
13	上野泰郎	よろずの民	1991	紙・着彩	寄附	130.0×176.0
14		うつくしい地	2000	紙・着彩	寄附	130.5×194.0
15	篠崎輝夫	シヌへの旅(翔)	1974	キャンバス・油彩	寄附	194.0×130.0
16		絵馬による作品	1979	キャンバス・油彩	寄附	130.0×194.0
17		張騫出西域	1991	キャンバス・油彩	寄附	193.0×129.0
18		西安石馬	1994	キャンバス・油彩	寄附	71.0×115.0
19		西安古潭	2005	キャンバス・油彩	寄附	145.0×111.5

1	篠崎輝夫	西域の旅(1組)		紙・水彩	寄附	(研究資料)
---	------	----------	--	------	----	--------

□ 管 理 運 営 □

□ 運 営 方 針 □

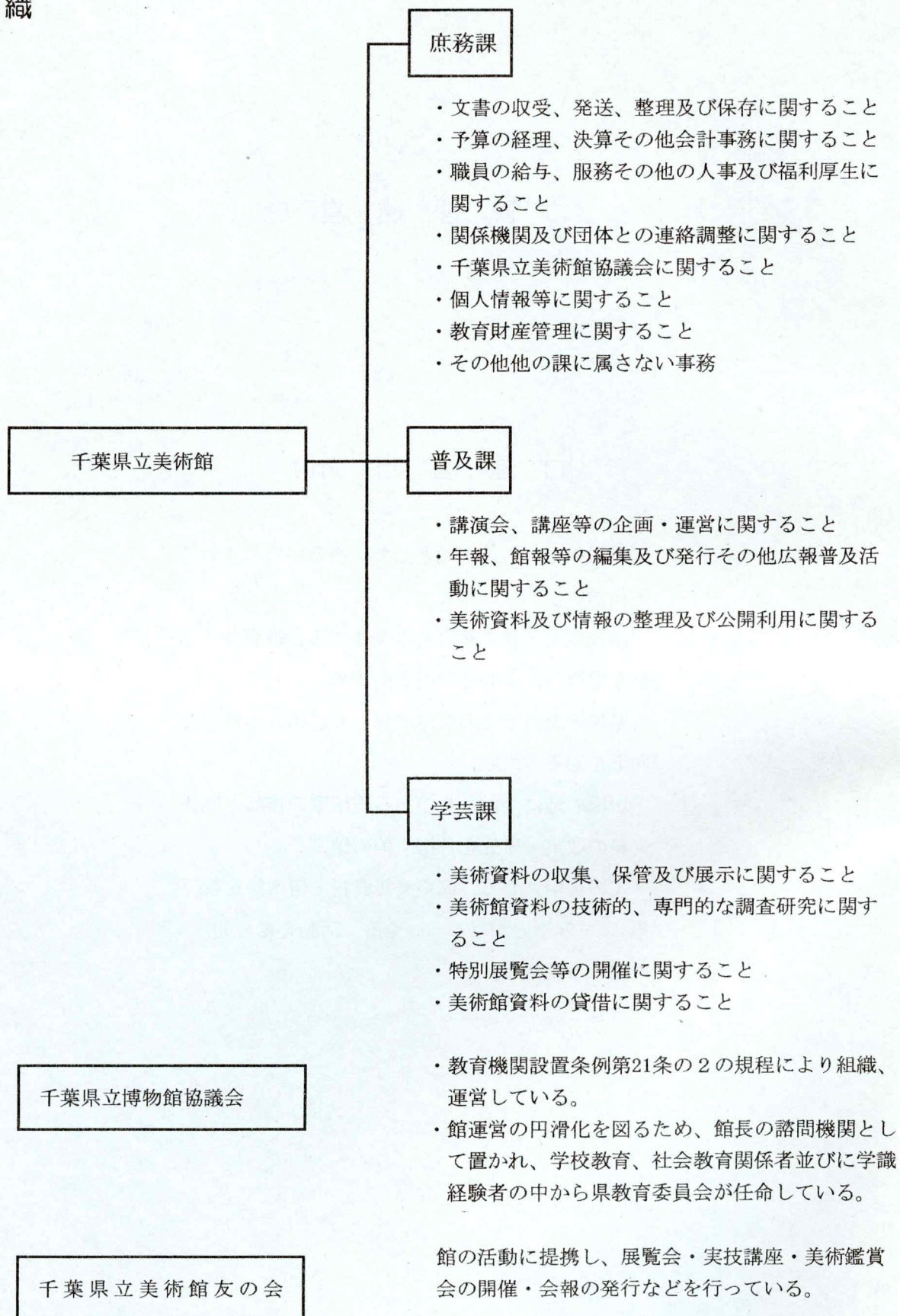
県民のための美術館として、明るい親しまれる美術館。

学校教育・社会教育との関連から、教育普及活動を重視し、楽しく学べる美術館。

県民と美術家との交流の場とし、相互の理解と向上を図る美術館。

房総の地にかかわりのある美術家の作品と関係資料の収集・研究を目指す美術館。

美の広場として、広く美術資料・情報等を収集し、“みる・かたる・つくる”活動を総合的に展開する美術館。



普及課長	森 尚 登
上席研究員	高 橋 美代子
”	乙 竹 孝 文
”	浜 田 純 子
”	荒 井 喜代美
学芸課	
上席研究員	金 田 雅 成
”	高 橋 覚
”	渋谷 さゆり

■利用状況

平成18年度入館者一覧表

	開館 日数	入館者 計	個 人									
			計	有 料			無 料					
				計	一 般	高・大生	計	一 般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他
4月	26	5,316	5,154	848	820	28	4,306	2,421	85	182	1,415	203
5月	26	11,243	10,921	1,081	1,049	32	9,840	5,784	186	544	2,950	376
6月	26	9,612	9,174	1,000	960	40	8,174	4,601	73	374	2,368	758
7月	26	9,462	9,121	959	891	68	8,162	4,209	248	1,098	2,184	423
8月	27	11,716	11,514	1,209	1,137	72	10,305	4,899	422	2,003	2,371	610
9月	26	8,406	8,179	830	780	50	7,349	4,220	95	564	2,174	296
10月	21	17,313	16,815	471	456	15	16,344	10,827	74	364	4,848	231
11月	25	9,395	9,240	271	259	12	8,969	5,271	651	394	2,378	275
12月	23	23,800	23,701	1,087	1,037	50	22,614	9,419	210	6,361	4,517	2,107
1月	23	4,841	4,841	855	826	29	3,986	2,209	126	166	1,320	165
2月	24	10,949	10,077	1,274	1,225	49	8,803	4,089	201	842	2,889	782
3月	27	7,360	7,174	1,110	1,065	45	6,064	2,482	217	654	2,354	357
計	300	129,413	125,911	10,995	10,505	490	114,916	60,431	2,588	13,546	31,768	6,583

	開館 日数	団 体									
		計	有 料			無 料					
			計	一 般	高・大生	計	一 般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他
4月	26	162	122	122		40	40				3
5月	26	322	152	126	26	170	2		26	142	7
6月	26	438	145	145		293	17			189	11
7月	26	341	59	59		282	14		169	98	7
8月	27	202	58	57	1	144	4		26	58	6
9月	26	227	74	74		153	46		3	88	6
10月	21	498				498	166	140	172	20	9
11月	25	155	32	32		123	13		39	12	4
12月	23	99	20	20		79	24			55	4
1月	23										
2月	24	872	10	10		862	67			92	13
3月	27	186	51	51		135	39		11	69	4
計	300	3,502	723	696	27	2,779	432	140	446	823	74

その他＝（就学前児童）＋（心身障害者）

開館以来 総開館日数 9,513日

総入館者数 5,394,529人

■展示室利用団体

展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
1 第22回千葉県日本水彩展	4/4 ～ 9	洋画	180
2 第76回郷陽会展	4/11 ～ 16	洋画	130
3 第20回コクリコ会展	4/11 ～ 16	ガラス絵	91
4 msb2006chiba 第32回展	4/25 ～ 30	日本画・洋画・彫刻・工芸・立体	51
5 第33回千葉新協展	4/25 ～ 30	洋画	187
6 第32回獏展	4/25 ～ 30	洋画・彫刻・工芸・写真	45
7 第32回歩会彫刻展	4/25 ～ 5/7	彫刻	43
8 第20回千葉水彩展	5/2 ～ 7	洋画	84
9 第36回表美展	5/2 ～ 7	表装・額装・屏風	83
10 カラーダスト展	5/2 ～ 7	洋画	77
11 第30回墨の県展	5/9 ～ 14	水墨画・洋画・写真	420
12 第46回千葉アマチュア美術会展	5/16 ～ 21	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・その他	1,297
13 第51回二科会千葉支部展	5/23 ～ 28	洋画	711
14 第33回千虹会日本画展	5/23 ～ 6/4	日本画	60
15 第9回千葉多摩美会展	5/30 ～ 6/4	日本画・洋画・彫刻・工芸・写真・立体	48
16 第53回千葉県書道協会展	6/6 ～ 11	書	475
17 第28回新槐樹社千葉県支部展	6/13 ～ 18	洋画・彫刻	42
18 第29回千葉一陽展	6/13 ～ 18	洋画	114
19 第21回日本画四季展	6/13 ～ 25	日本画	60
20 千葉幼児美術展	6/13 ～ 18	絵画・その他	1,000
21 第34回水彩連盟千葉支部展	6/27 ～ 7/2	洋画	52
22 キルトリーダーズ千葉第5回パッチワークキルト展	6/27 ～ 7/2	パッチワークキルト	222
23 〈明日を拓く〉教育美展	6/27 ～ 7/2	洋画	119
24 精鋭展	6/27 ～ 7/2	洋画	91
25 第50回千葉県小中学校書写展覧会	7/4 ～ 9	書	630
26 第51回千葉二紀会展	7/4 ～ 9	洋画	74
27 第17回千葉県木彫会展	7/4 ～ 9	彫刻	68
28 第38回千葉市水墨画同好会連合会展	7/11 ～ 23	水墨画	579
29 第35回写真千葉県展	7/25 ～ 8/6	写真	303
30 第38回習美会初夏大作展	7/25 ～ 30	日本画・洋画	228
31 第40回漱雲会全国書道展	7/25 ～ 30	書	443
32 第16回太平洋美術会千葉支部展	8/1 ～ 6	洋画・彫刻・工芸	173
33 千葉県盲聾養護学校作品展	8/1 ～ 6	洋画・彫刻・デザイン・工芸・書・写真・立体・その他	397
34 第一美術協会第38回千葉県支部展	8/8 ～ 13	日本画・洋画・工芸	146
35 第36回いてふ会彫刻展	8/8 ～ 20	彫刻	52
36 三軌会千葉支部展	8/15 ～ 20	絵画・写真	146
37 第35回千葉硯心会書展	8/15 ～ 20	書	48
38 第23回「美しい郷土」絵画コンクール優秀作品展	8/22 ～ 27	絵画	684
39 日本春秋書院千葉書道団展	8/22 ～ 27	書	220
40 なの花書道展	8/22 ～ 27	書	117

展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
41 第46回白扇書道会展	8/29 ～ 9/3	書・その他	2,590
42 第44回新世紀千葉支部展	9/5 ～ 10	洋画	65
43 千葉県高等学校総合文化祭第39回合同写真展	9/5 ～ 10	写真	580
44 葉美会展	9/5 ～ 10	日本画・洋画	106
45 第29回等迦会千葉県支部展	9/12 ～ 18	洋画・その他	56
46 第53回千葉県勤労者美術展	9/12 ～ 18	洋画・書・写真	193
47 第29回千葉県写真展	9/12 ～ 24	写真	250
48 第56回千葉デザイン展2006	9/20 ～ 24	デザイン	178
49 第36回新構造千葉県支部展	9/20 ～ 24	洋画・工芸・写真	105
50 第38回ファンシー洋画展	9/26 ～ 10/1	洋画	71
51 第23回中央美術協会千葉支部展	9/26 ～ 10/1	日本画・洋画・その他	140
52 第17回千葉県教育芸術祭	10/3 ～ 9	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・その他	1,003
53 第26回二科会写真部千葉支部展	10/3 ～ 9	写真	71
54 第58回千葉県美術展覧会	10/14 ～ 11/5	日本画・洋画・彫刻・工芸・書	2,730
55 第18回千葉県高等学校総合文化祭「美術工芸書道作品展」	11/8 ～ 19	日本画・洋画・彫刻・デザイン・工芸・書・その他	2,713
56 第38回千葉現展	11/21 ～ 26	日本画・洋画・デザイン・工芸・立体	60
57 第33回文化書道千葉県連合会公募展覧会	11/21 ～ 26	書	364
58 伝統工芸陶葉会展	11/21 ～ 26	工芸	83
59 第51回こども県展（平成18年度千葉県児童生徒美術展覧会）	11/28 ～ 12/10	絵画	9,456
60 第6回亜細亜太平洋水墨画公募展	12/12 ～ 17	水墨画・その他	280
61 第34回富士百景写真展	1/5 ～ 8	写真	95
62 第42回登龍社書初展	1/5 ～ 8	書	263
63 千葉県立幕張総合高等学校書道展	1/5 ～ 8	書	90
64 第3回千葉国際美術展	1/23 ～ 28	書・その他	167
65 群鴎書人展	1/30 ～ 2/4	書	49
66 第22回書星選抜展	1/30 ～ 2/4	書	224
67 第59回千葉県小中高校書き初め展覧会	1/30 ～ 2/4	書	406
68 第32回子ども造形展	2/6 ～ 2/12	絵画・彫刻・デザイン・工芸・立体	2,000
69 千葉大学教育学部美術科図工科卒業制作展	2/14 ～ 2/18	日本画・洋画・彫刻・デザイン	16
70 千葉大学教育学部第41回学生書道展	2/14 ～ 18	書	151
71 千葉県生涯大学校京葉学園陶友会合同作品展	2/14 ～ 18	工芸	205
72 千葉日報書道展	2/20 ～ 25	書	422
73 第36回千葉県大学美術連盟展	2/27 ～ 3/4	洋画・立体	65
74 第18回日本童謡の書展	2/27 ～ 3/4	書	1,856
75 第10回平成美術会展	3/6 ～ 11	洋画	101
76 第32回千葉県民写真展	3/6 ～ 11	写真	792
77 第12回翔洋展	3/13 ～ 18	洋画	49
78 第30回記念唱和会書展	3/13 ～ 18	書	165
79 ダネラ展	3/13 ～ 18	工芸	66
80 第54回書星教育部展	3/20 ～ 25	書	1,048
			39,314

■施 設

この建物は、幾つかの建設候補地の中から、千葉港に隣接した臨海埋立地の一角に計画された。計画着手当時はこの付近は訪れる人も少なく、海を通して石油基地のタンク群や工場と煙を吐き出す煙突が望める環境であった。

このような当初の環境下で、空気汚染、降下煤塵そして塩害など、建物に与える悪影響が予測されるために、材料の選択、構法、空調計画等は十分な検討がなされた。以下、主な部分について記す。

外壁の打込みタイル-先積ブリック工法

従来の外壁をコンクリートで表現している建物とは異なり、珧器質タイルを型枠代にしてコンクリートを一体に打ち込む工法を用いた。

使用したタイルは従来の断面と異なり、コの字型の断面をしており、型枠にセットせずモルタルにて積上げられるように見込み寸法を5cmの厚みにしてある。

施工方法は、内型枠、配筋工程の次のタイルを積み5段毎に型枠のホームタイを通し、2,400mm程度まで積み上げ単管にて固定する。この2,400mmの高さは、設計段階での試作実験にて安全を確認した数値である。試作段階での支保工は、縦方向に角材を400ピッチに通し、横方向に単管を480ピッチに通し固定したが、施行時は、縦方向に単管を480ピッチに通して固定した。コンクリートの打設は、1.5m~2.0m/hの速度を目標に行い、ポンプにて打設可能な程度までスランブを下げた。この工程を繰返しタイル壁面を構成していった。

タイル面の施工時の汚れ防止には、ふのりを塗布した。タイルの目地は積み上げる工程で仕上げられ、表面に表われない目地の空隙にコンクリートのノロがしみ込んでゆき、目地からの滲透水を防ぎ満足する状態に仕上がった。

屋根の天然スレート

前述のような環境のもとで、勾配屋根に適し、十分にもちこたえられる材料としては耐候性鋼等が考えられたが、調査の結果により天然スレートを使用した。

空調計画

計画当初より、良好とはいえない外部環境から美術品をいかに保護するかが、海浜に建つ美術館として、ひとつの重要なテーマだった。外気取入れは、内部に自動巻取りフィルター、中性能フィルター、脱臭フィルターの3種類の空気清浄フィルターを組込んだ外気処理器を通して供給されている。

展示棟はCAV(定風量型)+VAV(可変風量型)方式により計画されている。わが国の美術館は、平常の館内利用者に対して特別展や団体展等のときに非常に利用者がふえて、発熱負荷の変動が大きくなる。VAV方式は、こ

ういった条件に対して非常に効果的であるといえる。

管理棟は、エネルギーの省力化にも役立つVAV方式を採用し、収蔵庫は、露点再熱制御方式により二つの条件の異なる収蔵庫を2台の空調機で空調されている。

照明計画

展示壁面は、自然光源と人工光源とにより全体計画されている。

自然光源は展示棟の高窓から取り入れられ、外部の溝型ガラスと内部の紫外線吸収の亚克力拡販板を経て壁面に達する。しかし、太陽直射光の鉛直面照度は8時から15時の間で10%の時間が80,000lx以上、30%の時間が50,000lx以上、50%の時間が25,000lx(平均)以上、90%の時間が5,000lx以上という測定値があり、また水平面照度にしても50,000lx(薄暗)から5,000lx(曇天)の範囲と非常に明るい。このように必要以上に明るい光源は、調光通路内に設けられた2枚の電動スクリーン(これは、計算値により鉛直面照度60,000lx以上の条件のとき必要な枚数で、それぞれ異なった透過率を有する布を使用した)にて基準の壁面照度になるよう調光される。

計算値による通過率をもつクロスでの何回かの現場実験の結果、クロスは白地のポリエステル(通過率53.6%)と黒地のジョーゼット(通過率35%)の2枚を採用した。ここで留意すべき点は、クロスの遮光性能を良くするために、厚地の布や、コーティングされた布を使用すると壁面に色がつくことがある。壁面の照度分布の状態は、視覚的に均一な壁面が確保できた。

曇天・雨天に対しては、蛍光灯と白熱灯を補助照明として設置した。蛍光灯と白熱灯を併用したのは、演色性を高めるためである。

第1、2展示室は、すべて蛍光灯と白熱灯による人工光源で計画されている。壁面照度は、最高200lxに押えている。

固定ケースは基準照度を180lxに設定した。照明方法は、全面アルミルーバーの天井ふところに蛍光灯を2本並列させ、その間に白熱灯2個を配置した。

〈設計及び工事監理者〉

大高建築設計事務所

〈施工者〉

建築：(株)竹中工務店

設備：空調=東洋熱工業(株)

衛生=第一管工事(株)

電気=関東電気工事(株)

備品：天童木工、山口木工、佐々木ブラインド

〈都市計画地域指定〉

用途地域：準工業地域

〈規模・面積〉

敷地面積	33,057.87m ²
建築面積	8,777.94m ²
延床面積	10,663.57m ²
展示棟	6,343.02m ²

管理棟	2,818.89㎡
県民アトリエ棟	1,501.66㎡
駐車台数	97台

〈工期及び建設経費〉

- (1) 第1期工事（展示棟）5,194.59㎡
 （建築面積5,102.35㎡）

○工 期 昭和47年9月20日～昭和49年3月31日

工事費	775,967千円
本体工事	425,230千円
電気設備工事	79,663千円
空調設備工事	166,493千円
給排水衛生設備工事	28,995千円
外溝工事	67,705千円
ガス工事	7,881千円
(2) 第2期工事（管理棟）	2,274.60㎡
（建築面積1.089.50㎡）	

○工 期 昭和50年3月1日～昭和51年2月20日

工事費	453,800千円
本体工事	307,500千円
電気設備工事	30,000千円
空調設備工事	79,000千円
給排水衛生設備工事	19,514千円
外溝工事	17,786千円

- (3) 第3期工事（県民アトリエ）1,501.66㎡
 （建築面積1,449.34㎡）

○工 期 昭和54年3月22日～昭和55年2月29日

工事費	370,000千円
本体工事	265,300千円
電気設備工事	35,000千円
空調設備工事	56,200千円
給排水衛生設備工事	13,500千円

○工 期 昭和55年12月25日～昭和56年3月24日

工事費	8,000千円
外構工事	8,000千円

- (4) 第4期工事（第8展示室1,148.43㎡
 収蔵庫544.29㎡）1,692.72㎡
 （建築面積1,136.75㎡）

○工 期 昭和62年7月11日～昭和63年8月31日

工事費	747,500千円
本体工事	476,000千円
電気設備工事	81,000千円
空調設備工事	171,000千円
給排水衛生設備工事	19,500千円
総工事費	2,355,267千円

工期別面積一覧

区分	地階	1階	2階	塔屋	合計
第1期	325.04	4,750.79	61.00	57.76	5,194.59
第2期	—	1,185.10	1,089.50	—	2,274.60
第3期	—	1,403.15	98.51	—	1,501.66
第4期	15.46	1,132.97	544.29	—	1,692.72
合計	340.50	8,472.01	1,793.30	57.76	10,663.57

〈概要〉

建物

【階数】

地下1階、地上2階、塔屋1階建

【高さ】

基礎底：GL－ 5.00m

高 さ：GL＋15.20m

【構造】

主体構造：鉄筋コンクリート造

屋 根：鉄骨造

主 鋼 材：SS41及び高張力鋼

コンクリートの種類

A種・普通コンクリート（基礎・地中梁・1階スラブ）

$$F_c = 210 \text{ kg/cm}^2$$

B種・軽量コンクリート（梁・スラブ用・地上部）

$$F_c = 300 \text{ kg/cm}^2$$

C種・軽量コンクリート（地上部躯体でAB以外の梁・壁など） $F_c = 240 \text{ kg/cm}^2$

〈設備〉

【電気設備】

受 電 方 式：交流3相3線式6,000V 50Hz

電話交換方式：64回線デジタル交換機方式

【空調設備】

展示棟＝CAV（定風量型）＋VAV（可変風量型）方式

管理棟＝VAV方式

保管庫＝露点再熱制御方式

県民アトリエ棟＝各室ハンドリング方式

熱 源：空気熱源スクルー熱回収ヒートポンプ方式

【衛生設備】

給 水：ポンプ圧送方式、引込み管径75mm

排 水：汚水・雑排水合流方式系統（管径300）、雨水系統（管径300）別、公設本管へ放流

【防災設備】

排煙方式：自然排煙、機械排煙（第1、2、7展示室）

消火方式：屋外・屋内消火栓、不燃性ガス消火設備（ハロゲン1301）

自家発電：ディーゼル機関直結交流発電機、定格出力100kVA

火災報知設備：P型1級自動火災報知設備

【その他の設備】

防犯設備：ITVカメラ設備、防犯警報装置

昇降機設備：荷物用エレベーター

規 模：容量3,000kg

カゴ内法=3,000mm×3,000mm×3,000mm

速度30m/min

展示棟

玄関ホール	102.40㎡
クローク	91.80㎡
倉庫 A	2.70㎡
倉庫 B	2.70㎡
第1展示室	437.76㎡
第2展示室	400.32㎡
第3展示室	469.08㎡
第4展示室	403.20㎡
第5展示室	824.19㎡
第6展示室	330.58㎡
第7展示室	566.56㎡
第8展示室	864.61㎡
食堂	119.52㎡
厨房	36.00㎡
従業員控室	17.28㎡
食堂ホール	49.20㎡
ミュージアムショップ	12.00㎡
ロビー	335.52㎡
第1休憩室	23.04㎡
第2休憩室	23.04㎡
第3休憩室	23.04㎡
便所 A	30.24㎡
便所 B	23.76㎡
身障者用便所	7.92㎡
コントロール室	20.16㎡
フィルター室	28.92㎡
工作室	31.00㎡
発電気室	25.00㎡
電気室	123.20㎡
ポンプ室	76.80㎡
機械室	305.20㎡
機械室(新)	283.82㎡
高架水槽室	11.46㎡
E.V機械室	27.28㎡
E.V廻り	54.56㎡
ダクトスペース	35.68㎡
廊下等	123.48㎡

計 ① 6,343.02㎡

管理棟

(1階)

第2会議室	22.62㎡
更衣室	14.38㎡
医務室	21.18㎡
書庫	22.02㎡
警備員室	43.59㎡
第1会議室	20.15㎡
倉庫	7.19㎡
湯沸室	5.19㎡
便所	24.54㎡
宿直室	34.20㎡
物置	9.92㎡
用務員室	31.83㎡
審査室・資料準備室・荷解室	520.68㎡
消毒室	31.79㎡
資料倉庫	124.25㎡
荷解梱包室	52.67㎡
荷扱人室	21.94㎡
機械室	51.74㎡
廊下等	123.97㎡

小計 1,183.85㎡

(2階)

館長室	33.27㎡
副館長室	23.42㎡
第1応接室	14.67㎡
第2応接室	14.55㎡
庶務課室	112.34㎡
会議室	43.84㎡
学芸課・普及課室	195.32㎡
学芸相談室	23.91㎡
研究工作室	216.49㎡
写真スタジオ	54.30㎡
器材室	6.74㎡
暗室	12.19㎡
第1収蔵室	184.40㎡
第2収蔵室	42.81㎡
第3・4収蔵室	544.29㎡
E・V前室	16.39㎡
便所	21.50㎡
湯沸室A	3.24㎡
〃B	6.87㎡
廊下等	60.94㎡
タコスペースその他	3.56㎡

小計 1,635.04㎡

計 ② 2,818.89㎡

県民アトリエ棟

1F 機械室

25.92㎡

講堂倉庫

8.64㎡

講堂

259.24㎡

コントロール室

30.33㎡

ホール側便所

29.97㎡

情報資料室

172.77㎡

情報資料室倉庫

4.70㎡

事務室

22.76㎡

研修室

74.70㎡

研修室倉庫

4.23㎡

第1アトリエ

155.70㎡

第2アトリエ

184.31㎡

第3アトリエ

95.47㎡

アトリエ側便所

20.77㎡

荷解室

25.65㎡

窯場

27.17㎡

窯場倉庫

6.66㎡

ホールその他

352.67㎡

計 ③ 1,501.66㎡

合計 10,663.57㎡

(①+②+③)

(参考)

*展示室総面積 4,296.30㎡

*収蔵庫総面積 771.50㎡

内容

①～⑧ 展示室

⑨ 食堂(44席)

⑩ 玄関ホール

⑪ トイレ

男子用6ヶ所

女子用6ヶ所

身障者用2ヶ所

⑫ ホール

⑬ 講堂(200人)

⑭ 情報資料室

⑮ 研修室(40人)

⑯～⑲ 実技室

⑲ 窯場

⑳ 搬出入口

㉑ 機械室

㉒ エレベーター

㉓ 館長室

㉔ 副館長室

㉕ 庶務課

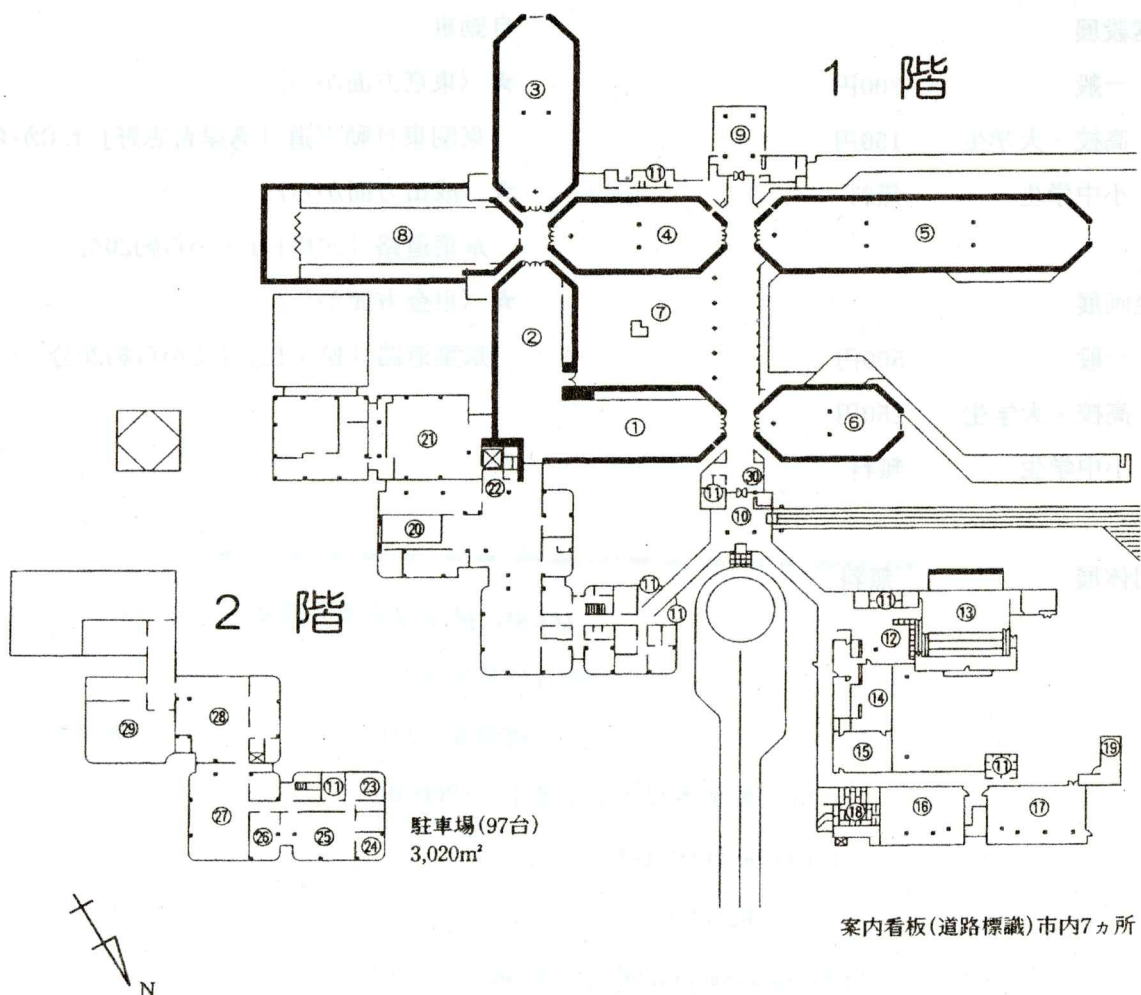
㉖ 会議室

㉗ 学芸課・普及課

㉘ 研究工作室

㉙ 収蔵庫

㉚ ミュージアムショップ



■平成18年度利用案内

■開館時間

開館時間

午前9時から午後4時30分

休館日

- ・月曜日(ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日休館)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)
- ・展示替え等のため、必要があるとき

■入場料

常設展

一般	300円
高校・大学生	150円
小中学生	無料

企画展

一般	500円
高校・大学生	250円
小中学生	無料

団体展

無料

■交通

電車・モノレール・バス

★JR(京葉線)・千葉都市モノレール

「千葉みなと」駅下車、徒歩8分

★JR「千葉」駅・京葉線「京成千葉」駅下車

●徒歩23分

●バス⑫番乗り場から「千葉ポートタワー」行にて15分。「美術館・中央郵便局前」下車、徒歩1分。

自動車

★〈東京方面から〉

東関東自動車道「湾岸習志野」I.Cから約20分

★〈成田方面から〉

京葉道路「穴川」I.Cから約20分

★〈東金方面から〉

京葉道路「松ヶ丘」I.Cから約20分

平成18年度 千葉県立美術館年報 (No.33)

平成19年 8 月31日発行

発行者

千葉県立美術館

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1

Tel 043(242)8311

Fax 043(241)7880

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>

Classic DES. 3 mm for 16-30 sheets 505
www.bindomatic.com

